

下松市公共交通に関する市民アンケート報告書

(抜粋)

平成 27 年 8 月

内容

1. 調査概要	1
2. 配布書類	2
3. 調査結果	7
3.1. 回答者自身について	7
3.2. 路線バスの利用について	11
3.3. 鉄道の利用について	29
3.4. デマンド型交通の利用意向について	42

1. 調査概要

業務の目的

下松市では、自家用車が市民の主な移動手段となっているが、高齢ドライバーの増加及びコンパクトシティの構築の検討などにあたっては、公共交通が重要な役割を果たすと考えられる。

また、下松市では、民間交通事業者が路線バスや鉄道を運行しているが、その利用実態や希望、満足度等は十分に把握できているとは言えず、今後、より良い公共交通網を構築していくためには、これらを把握する必要がある。

以上により、本業務では、市民アンケートを実施し、その結果を分析することにより、本市における現状、市民のニーズ、既存の公共交通サービスの課題等を把握し、地方創生に関する計画の基礎資料とする。

対象地域 下松市内

調査期間 配布：平成 27 年 6 月 17 日
回収：平成 27 年 6 月 30 日

調査方法 郵送配布・郵送回収

回収状況

年齢階層	配布数	回収数	回収率
16～24 歳	184	53	28.8%
25～39 歳	397	144	36.3%
40～64 歳	775	371	47.9%
65～74 歳	366	239	65.3%
74 歳以上	278	159	57.2%
全体	2,000	971	48.6%

調査項目

- ・回答者自身について
- ・路線バス利用について
- ・鉄道利用について
- ・デマンド型交通の利用意向について
- ・下松市の公共交通全般について

2. 配布書類

依頼文

公共交通に関する市民アンケート

～ ご協力をお願い ～

平素から、市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

下松市では、市民の日常生活における移動の中心がマイカーとなる中、路線バスを始めとした公共交通は利用者が減少傾向にあります。しかし、公共交通はマイカーを自由に利用できない人にとっては必要不可欠なものであり、まちづくりにおいても重要な役割を果たすものと考えられます。

そこでこの度は、市民の皆様の実態や現在の公共交通に対する満足度などを把握し、今後の市政に活かしていくため、アンケートを実施することとなりました。

このアンケートは、市内に在住の16歳以上の方から2,000人を無作為に選び、回答をお願いするものです。回答いただいた内容は統計的に処理しますので、個人の情報が公開されることはありません。どうぞ思ったままをご記入ください。

お忙しいところお手数をおかけしますが、ぜひご協力をお願いいたします。

平成27年6月

下松市長 **井川 成正**

【ご記入にあたってのお願い】

- 必ず封書の宛名のご本人様をご回答ください。
- 調査は無記名です。お名前のご記入の必要はありません。
- 回答は、黒または青のボールペンで記入してください（訂正する場合は、＝（二重線）で消して書き直してください）。
- 設問により、番号を○で囲むものと、文字を記入するものがあります。各設問の指示に従ってお答えください。
- 記入された調査票は、**6月30日（火）まで**に、同封の返信用封筒に入れて返送してください。切手を貼る必要はありません。

【お問い合わせ先】 下松市役所 企画財政部 企画財政課 企画政策係

電話 45-1804

公共交通に関する市民アンケート 調査票

あなたご自身についてお聞きします。

【問1】 次の項目について、具体的内容を記述するか、あてはまる番号1つに○をつけてください。

お住まい	下松市 _____ ※字名または丁目までお答えください 【例】下松市 大手町3丁目
性別	1. 男 2. 女
年齢	1. 16～24歳 2. 25～39歳 3. 40～64歳 4. 65～74歳 5. 75歳以上
世帯の人数	自分を含めて(_____)人
職業等	1. 高校生 2. 大学生・専門学校生 3. 自営業者・会社経営者・農林漁業者 4. 会社員・公務員・店員など(常勤) 5. パート・アルバイト・非常勤など(時間限定・臨時の仕事) 6. 収入を得る仕事はしていない(高校生・大学・専門学校生以外) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 200px;">※3、4、5にまたがって兼業されている場合は、収入の多い方の職業に○をつけてください</div>
免許保有状況	1. 普通自動車運転免許を持っている 2. 自動二輪・原付免許のみ持っている 3. 加齢等により運転免許は返納している 4. もともと運転免許を持っていない
自動車保有状況	1. 自分専用で使える車がある 2. 家族で共同利用する車がある 3. 家族が運転し送迎してくれる車がある 4. 世帯に車はない
自宅最寄りのバス停について	1. <u>知っている</u> 2. 知らない ↳ 自宅から約(_____)m、または徒歩で約(_____)分の場所にバス停がある

路線バスの利用についてお聞きします。

【問2】 どのくらいのひん度で路線バスを利用しますか。目的ごとに、あてはまる記号1つに○をしてください。

通勤・通学	ア. 利用しない イ. 年に数日 ウ. 月に数日 エ. 週1～2日 オ. 週3～4日 カ. 週5日以上
通院	ア. 利用しない イ. 年に数日 ウ. 月に数日 エ. 週1～2日 オ. 週3～4日 カ. 週5日以上
買い物	ア. 利用しない イ. 年に数日 ウ. 月に数日 エ. 週1～2日 オ. 週3～4日 カ. 週5日以上

次のページへ→

【問3】下松市内を運行する路線バスの満足度についてお聞きします。各項目ではあてはまる満足度の番号を、項目ごとに1つずつ○をしてください（○は全部で16個）。

項 目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
(1) 運行本数	5	4	3	2	1
(2) ダイヤ設定	5	4	3	2	1
(3) 運賃	5	4	3	2	1
(4) 運行経路（行き先・経由地）	5	4	3	2	1
(5) 目的地までの所要時間	5	4	3	2	1
(6) 始発便の時間	5	4	3	2	1
(7) 最終便の時間	5	4	3	2	1
(8) 自宅からバス停までの距離	5	4	3	2	1
(9) バスとバスの乗り換えのしやすさ	5	4	3	2	1
(10) バスと鉄道の乗り換えのしやすさ	5	4	3	2	1
(11) 時刻表や路線図のわかりやすさ	5	4	3	2	1
(12) 車両や施設の段差などバリアフリー対応	5	4	3	2	1
(13) バス停での屋根や椅子の有無など待ち合い環境	5	4	3	2	1
(14) バス停で得られる時刻表などの情報	5	4	3	2	1
(15) 駐輪場などのバス停周辺施設	5	4	3	2	1
(16) 総合的な「路線バス」のサービス内容について	5	4	3	2	1

↑

【問4】【問3】のいずれかの項目が改善されれば、路線バスの利用が今より増えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 今より増える 2. 増えない

【問5】【問4】で「1. 今より増える」と回答された方にお聞きします（「2. 増えない」と回答された方は【問6】へ）。【問3】で挙げた(1)から(15)の各項目のうち、どの項目が改善されれば路線バスの利用が今より増えますか。あてはまる番号を最大3つまでお答えください。

（例：「(6) 始発便の時間」が改善されれば今より利用が増える場合、()内に「6」と記入）

改善されれば今より利用が増える項目（最大3つまで） () () ()

鉄道の利用についてお聞きします。

【問6】どのくらいのひん度で鉄道（JR山陽本線及びJR岩徳線）を利用しますか。目的ごとに、あてはまる記号1つに○をしてください。

通勤・通学	ア. 利用しない イ. 年に数日 ウ. 月に数日 エ. 週1~2日 オ. 週3~4日 カ. 週5日以上
通院	ア. 利用しない イ. 年に数日 ウ. 月に数日 エ. 週1~2日 オ. 週3~4日 カ. 週5日以上
買い物	ア. 利用しない イ. 年に数日 ウ. 月に数日 エ. 週1~2日 オ. 週3~4日 カ. 週5日以上

【問7】下松市内を運行する鉄道（JR山陽本線及びJR岩徳線）の満足度についてお聞きします。あてはまる満足度の番号を、項目ごとに1つずつ○をしてください（○は全部で9個）。

項 目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
(1) 運行本数	5	4	3	2	1
(2) ダイヤ設定	5	4	3	2	1
(3) 運賃	5	4	3	2	1
(4) 目的地までの所要時間	5	4	3	2	1
(5) 始発便の時間	5	4	3	2	1
(6) 最終便の時間	5	4	3	2	1
(7) 車内や施設の段差などバリアフリー対応	5	4	3	2	1
(8) 駐輪場などの駅周辺施設	5	4	3	2	1
(9) 総合的な「鉄道」のサービス内容について	5	4	3	2	1

↑
【問8】【問7】のいずれかの項目が改善されれば、鉄道の利用が今より増えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 今より増える 2. 増えない

【問9】【問8】で「1. 今より増える」と回答された方にお聞きします（「2. 増えない」と回答された方は【問10】へ）。【問7】で挙げた(1)から(8)の各項目のうち、どの項目が改善されれば鉄道の利用が今より増えますか。あてはまる番号を最大3つまでお答えください。

（例：「(6) 最終便の時間」が改善されれば今より利用が増える場合、()内に“6”と記入）

改善されれば今より利用が増える項目（最大3つまで） () () ()

次のページへ→

デマンド型交通についてお聞きします。

【問10】近年、郊外を中心に、デマンド型交通（電話予約に応じて運行する乗合交通）の導入がみられます（周南市北部を運行する「ふれあい号」など）。仮に下松市で次のようなサービスが導入された場合、あなたは利用しますか。あてはまる記号1つに○をしてください。

1. 利用する 2. 利用しない 3. わからない

<今回想定する仮のサービス内容>

※あくまで仮の内容です。また、現時点での導入予定はありません。

運行日数：週2日程度
 運行便数：1日3往復程度（各便の発車時刻は決まっており、バスのように時刻表がある）
 目的地：下松市中心部の医療機関、商業施設、公共施設、鉄道駅等
 運賃：1乗車300円程度

利点	欠点
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅付近まで運行可能[※]（路線バスではバス停まで歩く必要あり）※道路状況等による ・利用者がいない便は運行しないため、ムダが少なく効率的 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話予約する必要がある（病院からの帰りなど、乗車する時間が決まっていない場合に予約しづらい） ・予約状況に応じて経路や目的地への到着時刻が変わる場合がある

下松市の公共交通全般についてご意見等をお聞きします。

【問11】最後に、下松市の公共交通全般についてご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

3. 調査結果

3.1. 回答者自身について

【問1】 あなたご自身についてお聞きします。

年齢・性別

・全ての年齢階層で女性の方が多かった

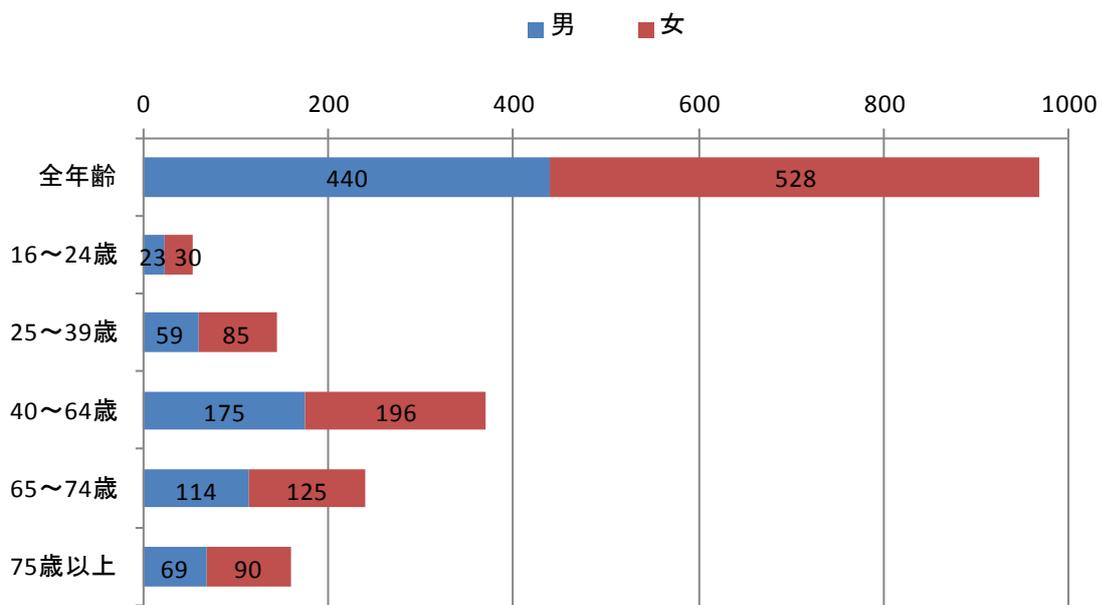


図 1 回答者の年齢・性別

世帯の人数

- ・半数以上が3人以上の世帯であった
- ・16～24歳は58%が4人以上の世帯であると回答した
- ・1人暮らしの世帯は75歳以上が20%と最も多かった

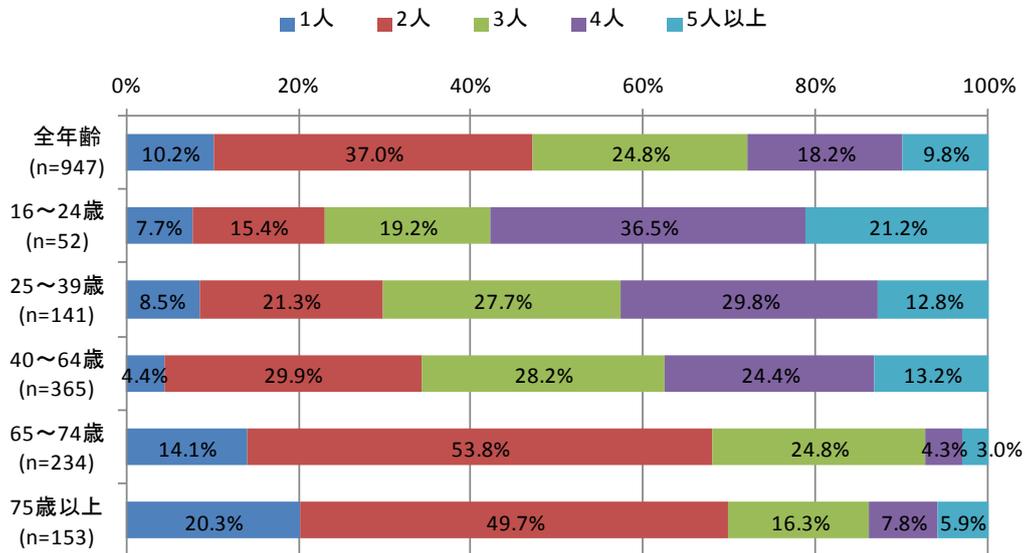


図 2 回答者の世帯人数

職業

- ・全体の4割以上が「収入を得る仕事はしていない」と回答した
- ・常勤の仕事と回答した割合は40～64歳で46%だが、65～74歳では6%であった

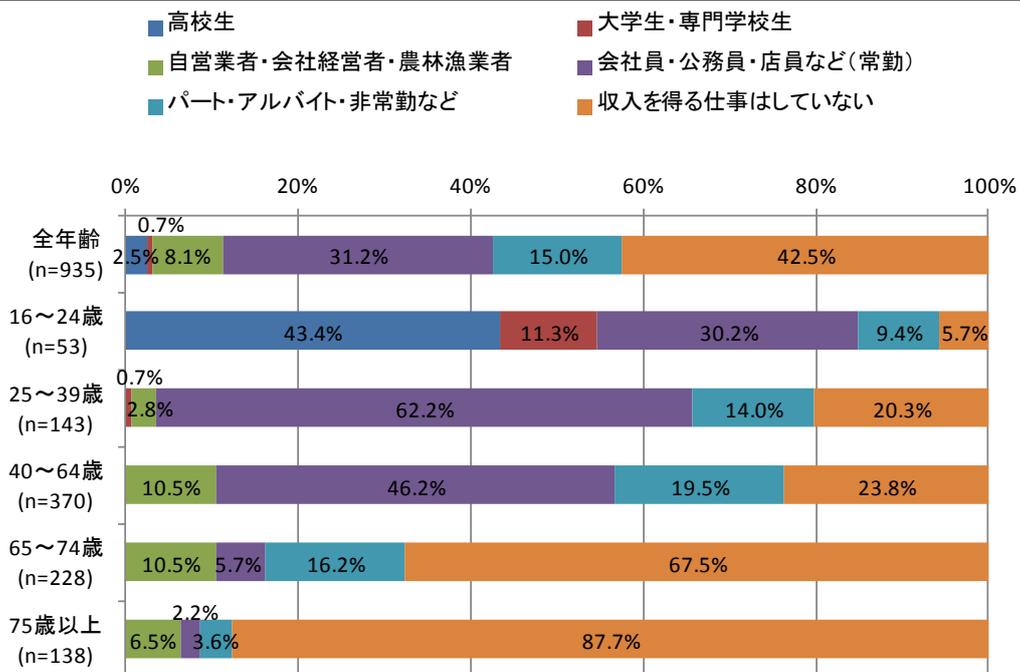


図 3 回答者の職業

運転免許保有状況

- ・全体で78%が「普通自動車運転免許を持っている」と回答したが、16～24歳と75歳以上では半数を下回った
- ・75歳以上では41%が「もともと運転免許を持っていない」と回答した

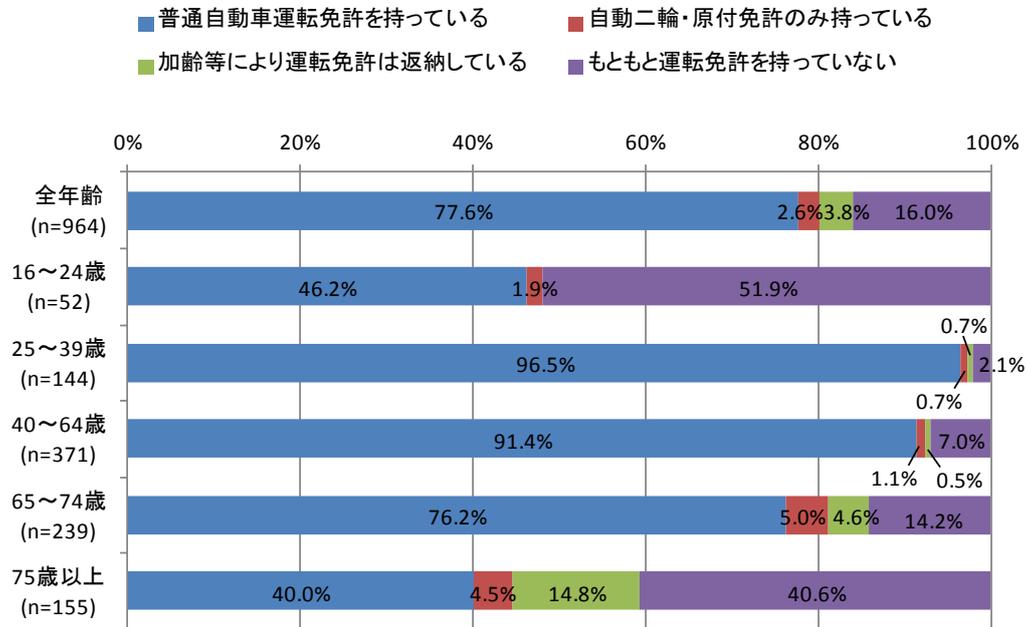


図 4 回答者の運転免許保有状況

自動車有状況

- ・「世帯に車はない」との回答は全体で8%だったが、75歳以上では29%であった

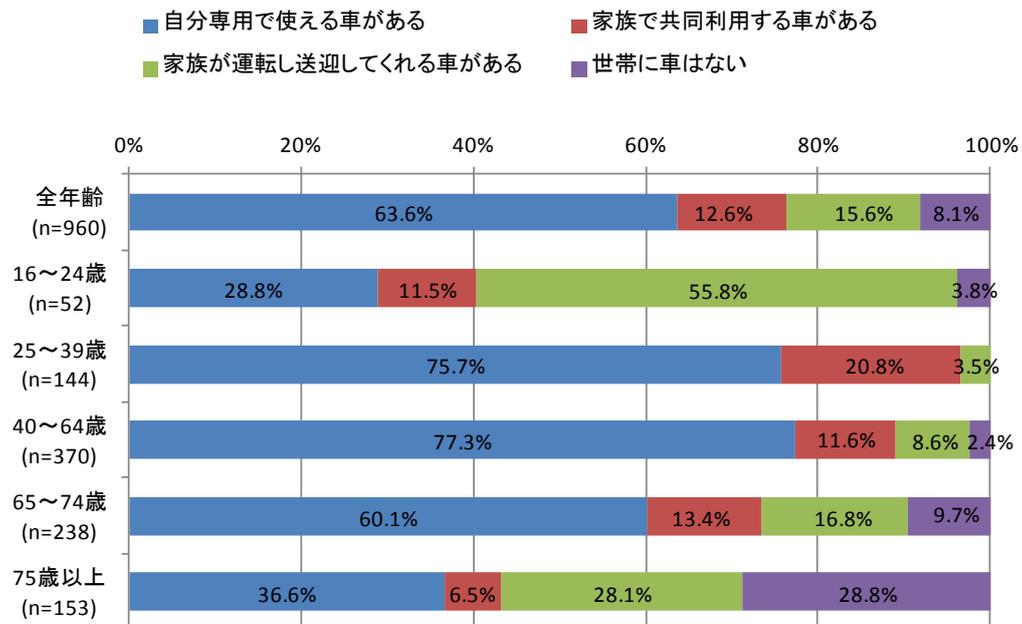


図 5 回答者の自動車保有状況

自宅最寄りのバス停の認知状況

・若い年齢階層の方が最寄りのバス停を「知らない」と回答した人が多かった

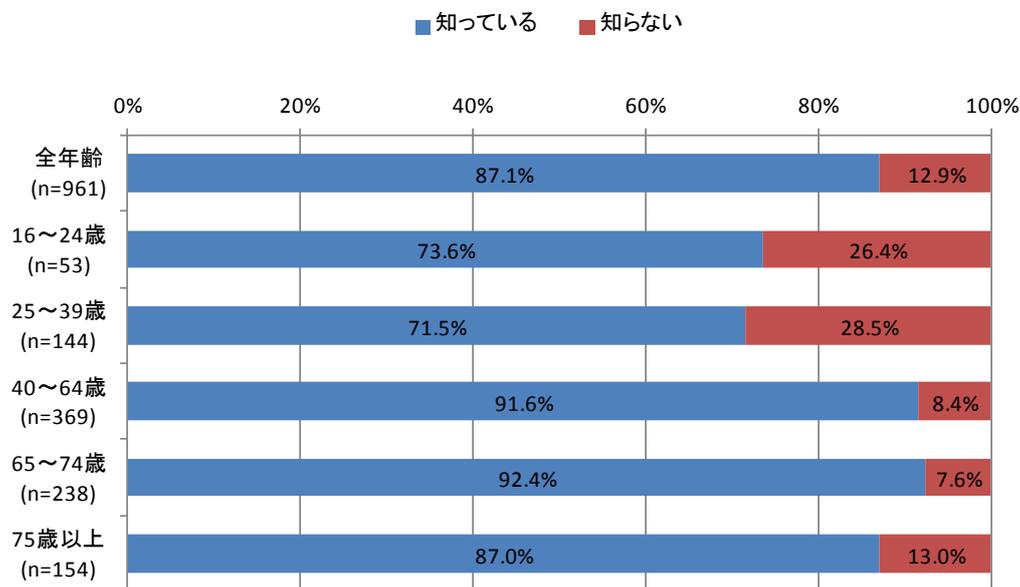


図 6 回答者の自宅最寄りバス停認知状況

自宅から最寄りのバス停までの距離

・最も多かったのが「1～250m」、次いで「251～500m」と、7割以上が500m以内にバス停があると回答した

・一方、1km以上離れているという回答も5%存在した

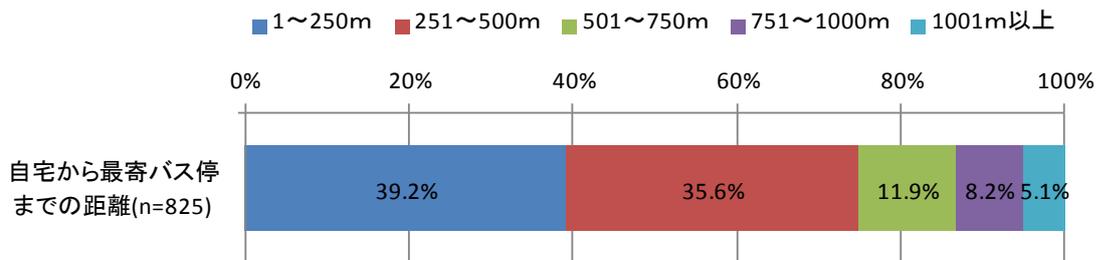


図 7 回答者の自宅から最寄りバス停までの距離

3.2. 路線バスの利用について

【問2】 どのくらいの頻度で路線バスを利用しますか。(〇は各1つ)

通勤・通学での路線バス利用頻度

・9割以上が路線バスを「利用しない」と回答した

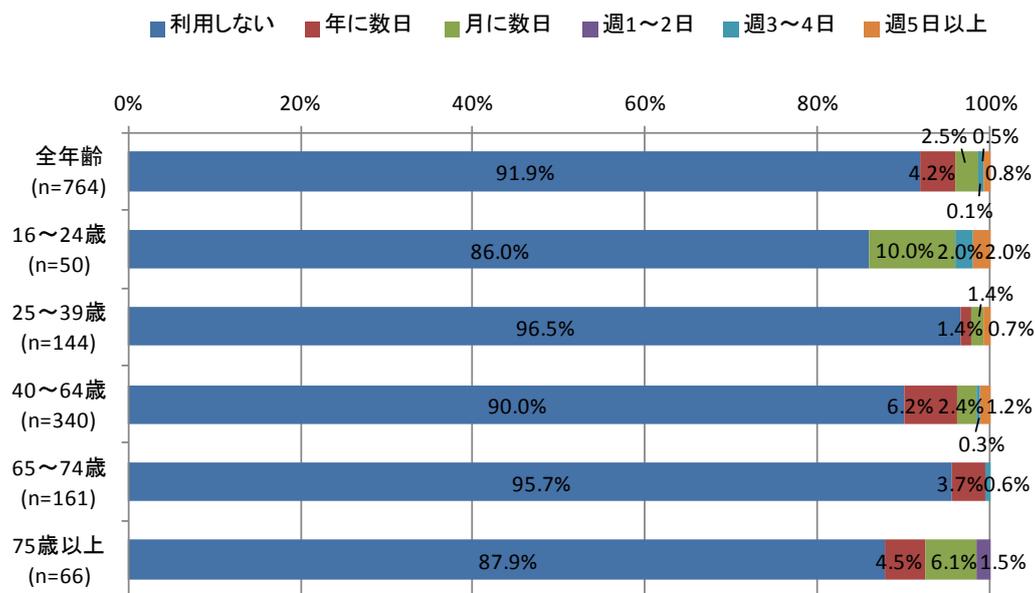


図 8 通勤・通学での路線バス利用頻度

通院での路線バス利用頻度

・バスを利用すると回答したのは16～24歳では2%だが、75歳以上では32%と、年齢層が上がるにつれ利用率も高くなっている

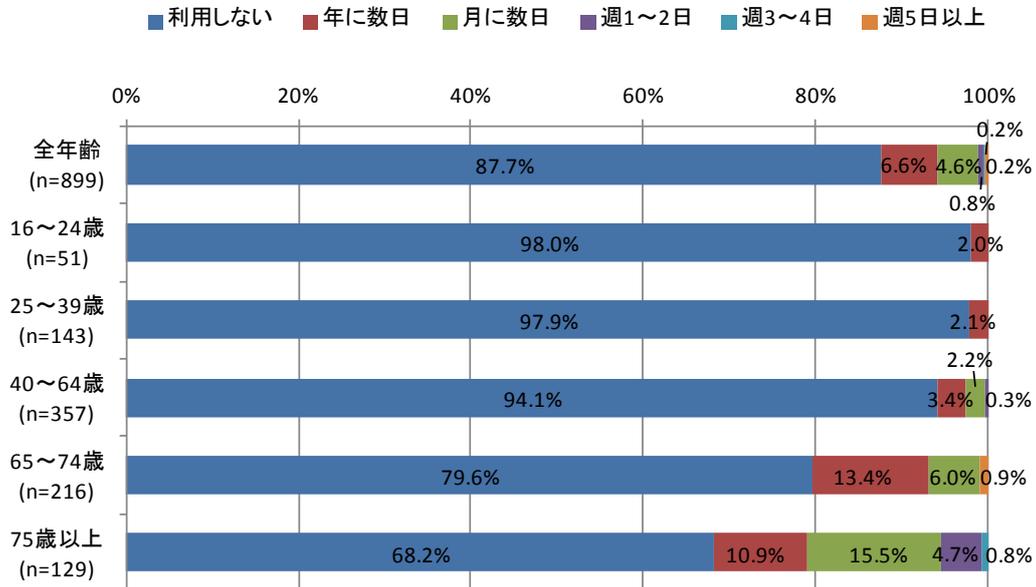


図 9 通院での路線バス利用頻度

買い物での路線バス利用頻度

・バスを利用すると回答した割合は通勤・通学や通院と比較すると高かったが、そのうち半数が年に数日の利用に留まっている

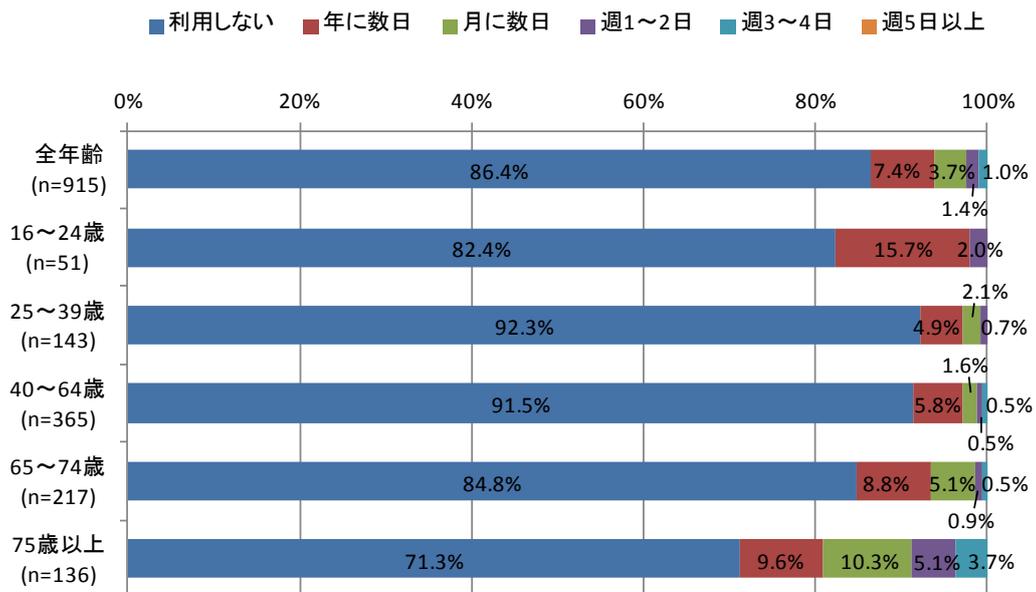


図 10 買い物での路線バス利用頻度

【問3】 下松市を運行する路線バスの満足度についてお聞きします。(〇は全部で16個)

下松市内を運行する路線バスの満足度

- ・「自宅からバス停までの距離」の満足度が突出して高く、「満足」「やや満足」を合わせても38%と他の項目の倍以上の割合であった
- ・「不満」の割合が一番高いのは「運行本数」だが、「やや不満」も合わせると「バス停での屋根や椅子の有無など待ち合い環境」の不満度が39%と最も高かった

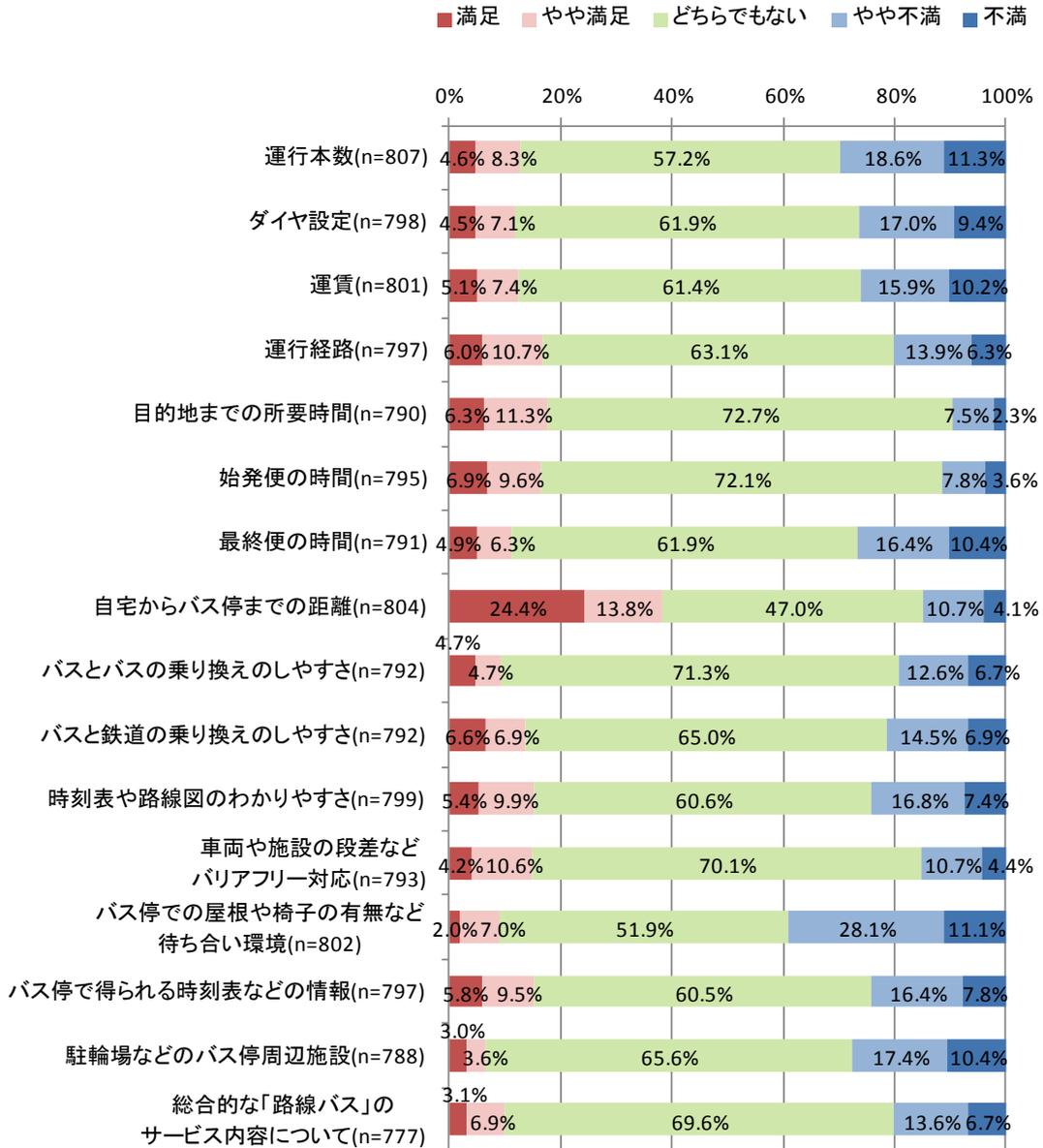


図 11 下松市内を運行する路線バスの満足度

運行本数

・全体的に不満度が高いが、75歳以上の年齢階層のみ「満足」「やや満足」の合計が3割を超えた

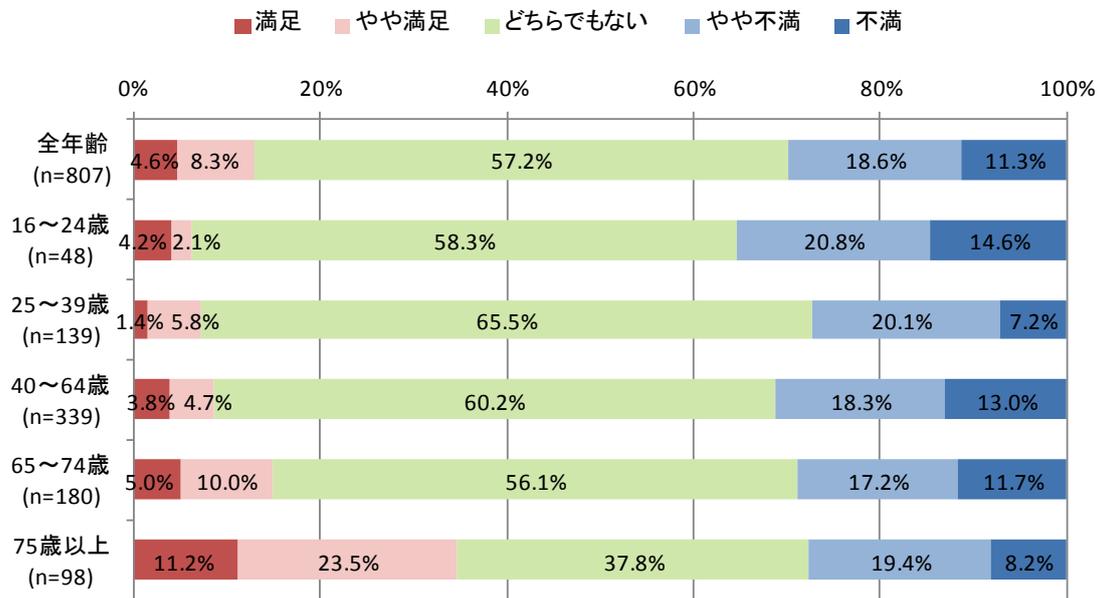


図 12 路線バスの運行本数満足度

ダイヤ設定

・全体的に不満度が高いが、75歳以上の年齢階層のみ「満足」「やや満足」の合計が3割を超えた

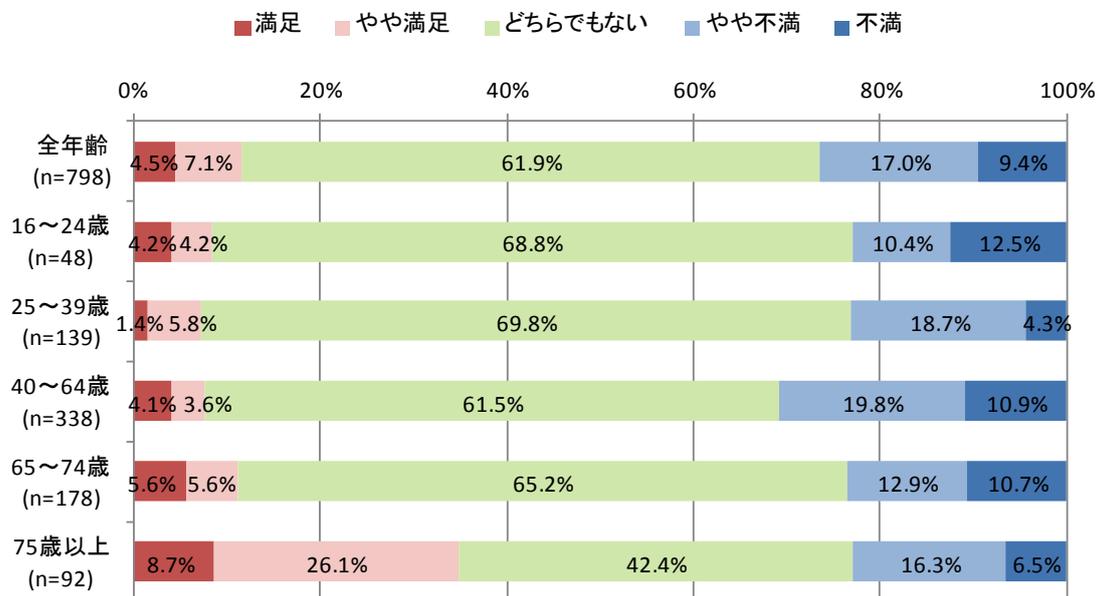


図 13 路線バスのダイヤ設定満足度

運賃

・全体的に不満度が高く、特に16～24歳の「不満」との回答が他の世代と比較し倍以上高かった

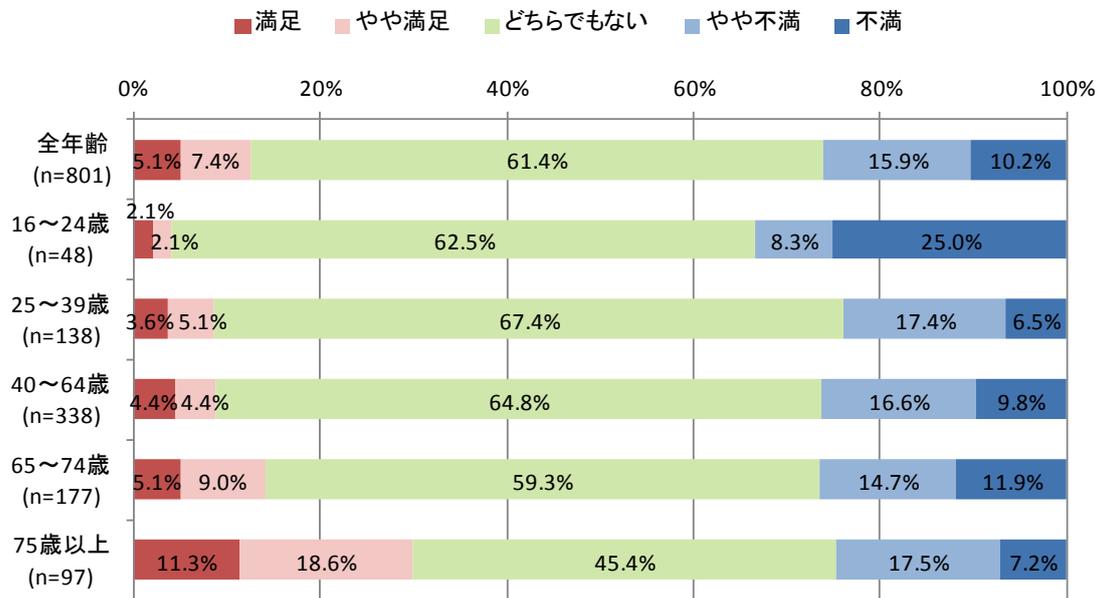


図 14 路線バスの運賃設定満足度

運行経路

・「不満」「やや不満」の合計は全ての年齢階層で20%前後であった

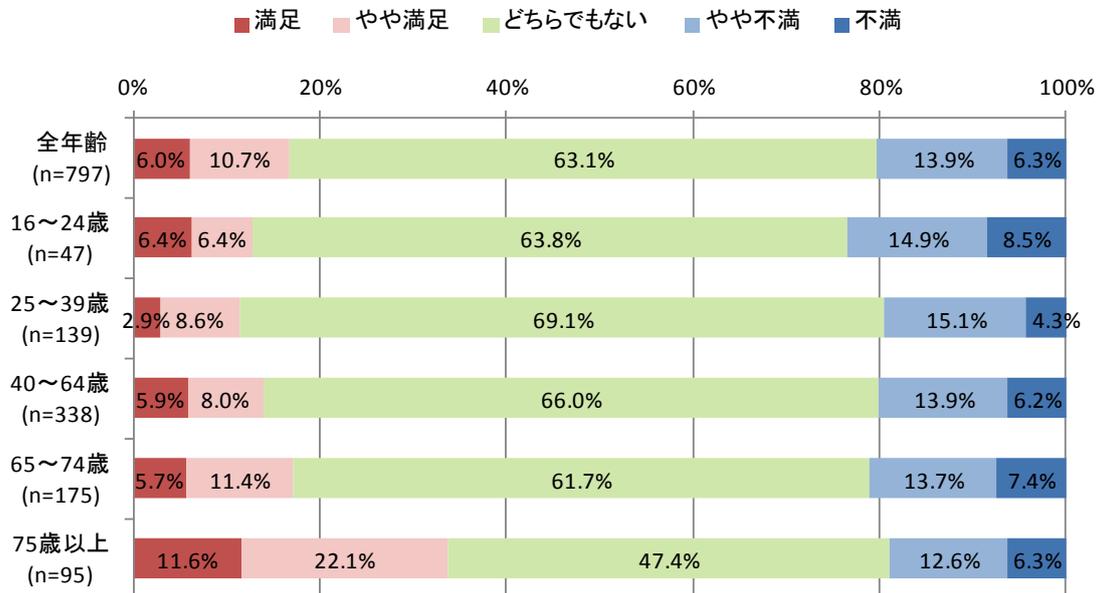


図 15 路線バスの運行経路満足度

目的地までの所要時間

・他の項目と比較し全体的に不満度が低く、75歳以上では「不満」という回答は無かった

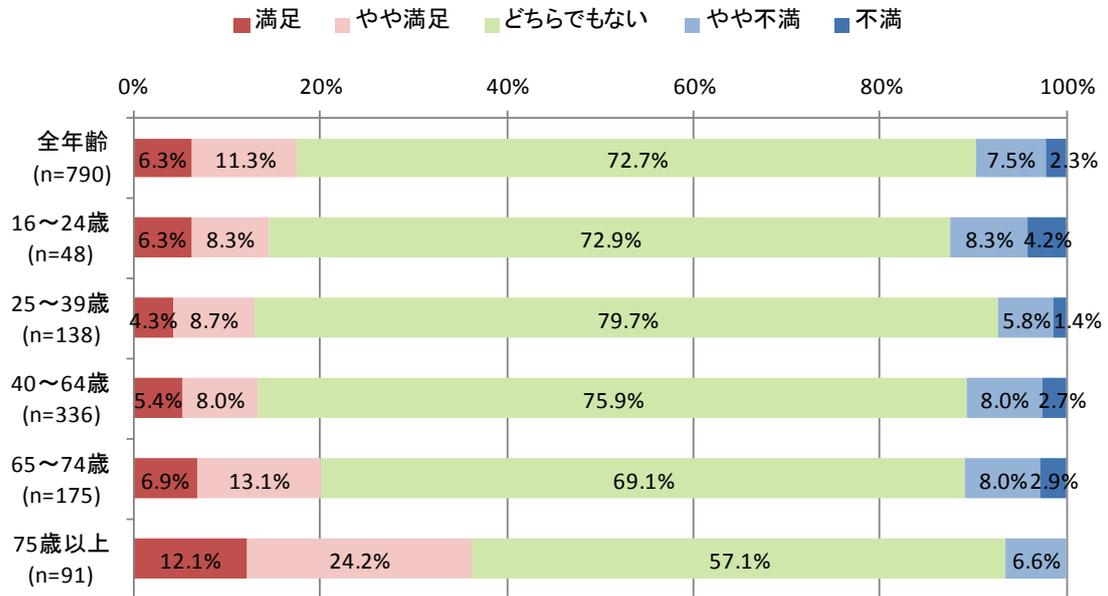


図 16 路線バスの目的地までの所要時間満足度

始発便の時間

・不満度も低い満足度も低く、「どちらでもよい」の回答が最も多かった

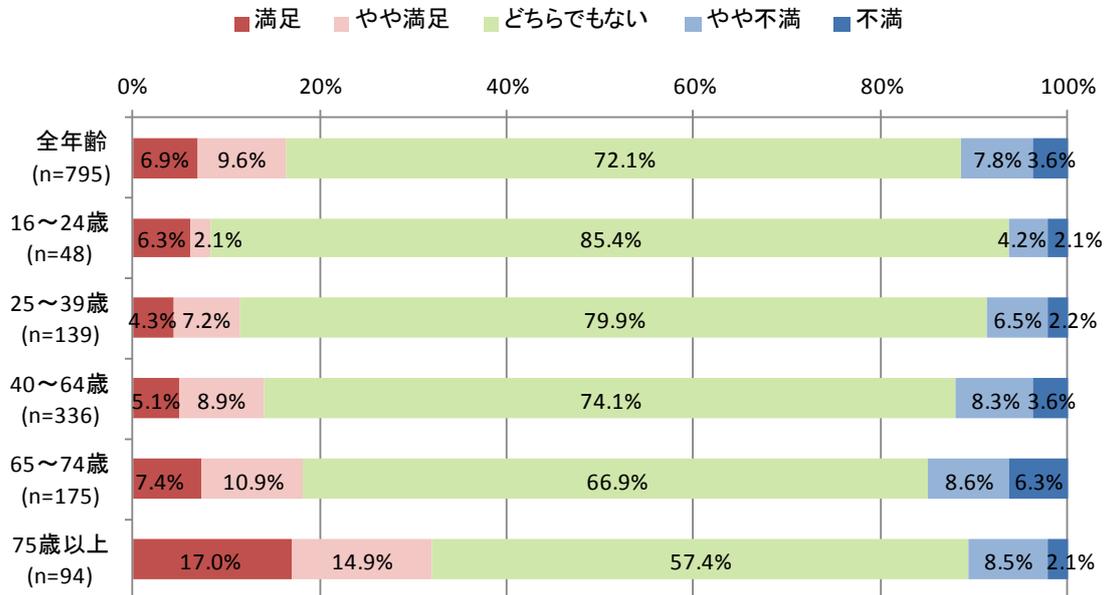


図 17 路線バスの始発便運行時刻満足度

最終便の時間

・16～24歳は「やや不満」の回答が無く、「不満」の回答が23%であった

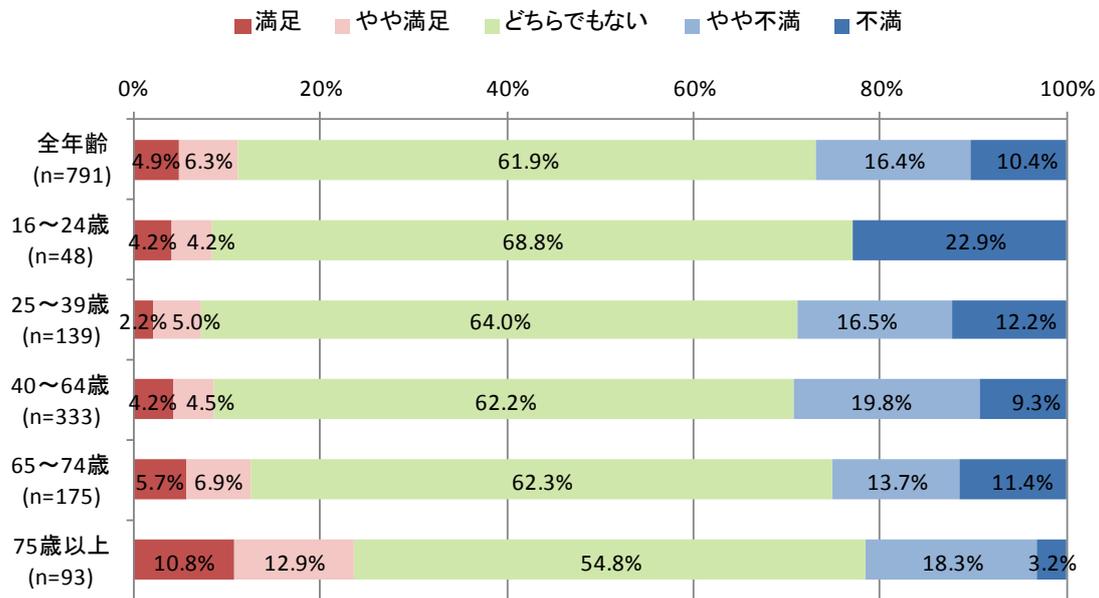


図 18 路線バスの最終便運行時刻満足度

自宅からバス停までの距離

・全体的に満足度が高く、75歳以上では「満足」「やや満足」の合計が全体の項目で唯一4割を超えている

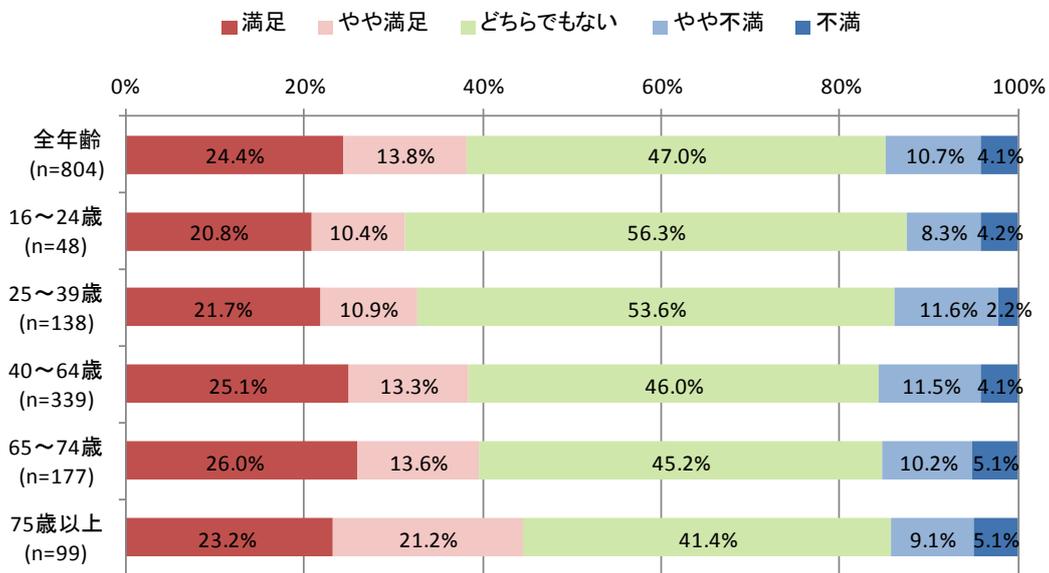


図 19 自宅からバス停までの距離の満足度

バスとバスの乗り換えのしやすさ

・満足度も不満度も低く、「どちらでもよい」の回答が多かった

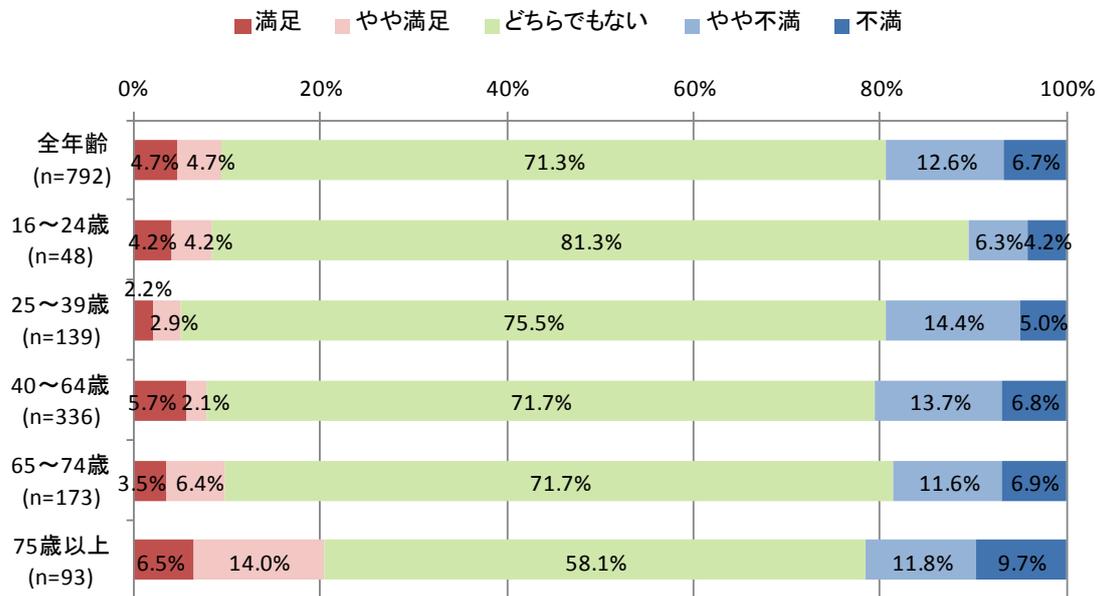


図 20 バスとバスの乗り換えのしやすさ満足度

バスと鉄道の乗り換えのしやすさ

・16～24歳の年齢階層で満足度が最も低く、不満度が最も高かった

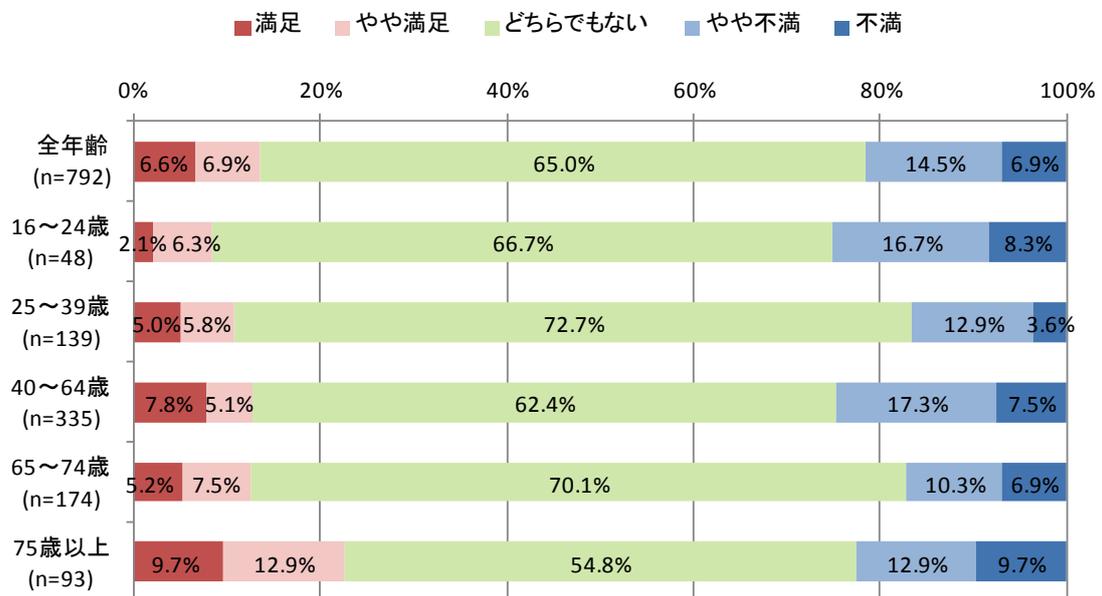


図 21 バスと鉄道の乗り換えのしやすさ満足度

時刻表や路線図のわかりやすさ

・満足度は75歳以上が最も高く、不満度は16～24歳が最も低かった

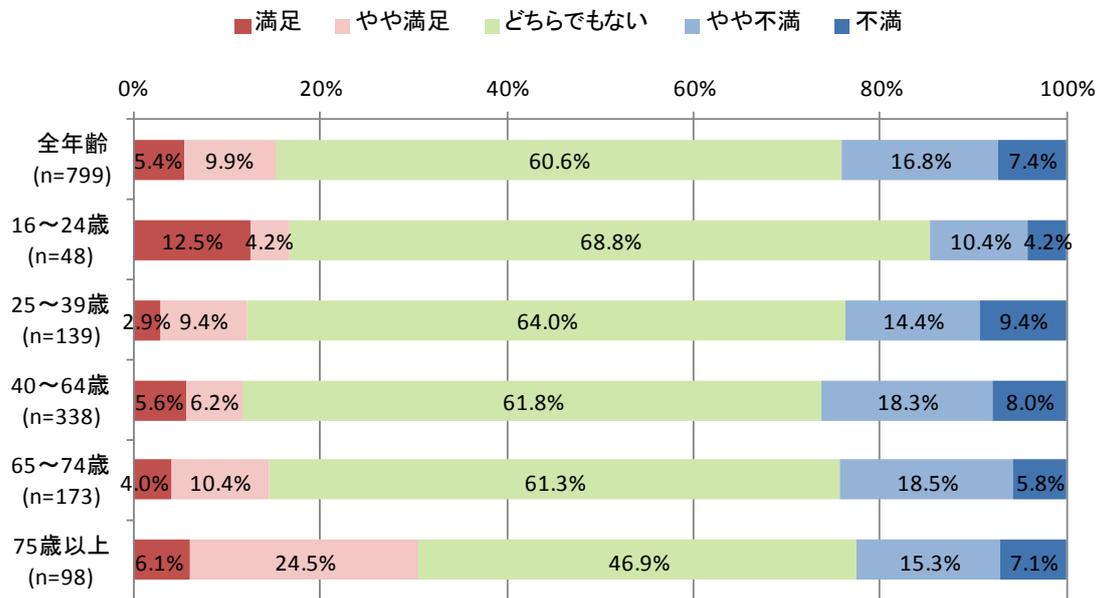


図 22 路線バスの時刻表や路線図のわかりやすさ満足度

車両や施設の段差などバリアフリー対応

・75歳以上の「不満」「やや不満」の合計が唯一20%を超えたものの、満足度もほぼ同率であった
 ・若年層では「どちらでもない」との回答が多かった

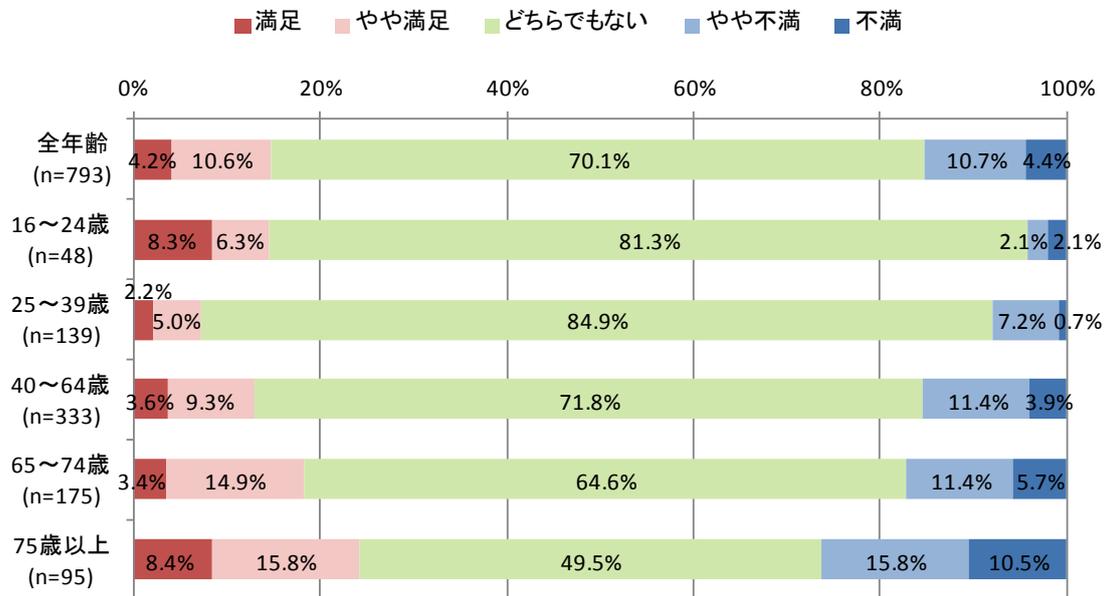


図 23 路線バスの車両や施設の段差などバリアフリー対応満足度

バス停での屋根や椅子の有無など待ち合い環境

・他の項目と比較し不満度が圧倒的に高かった

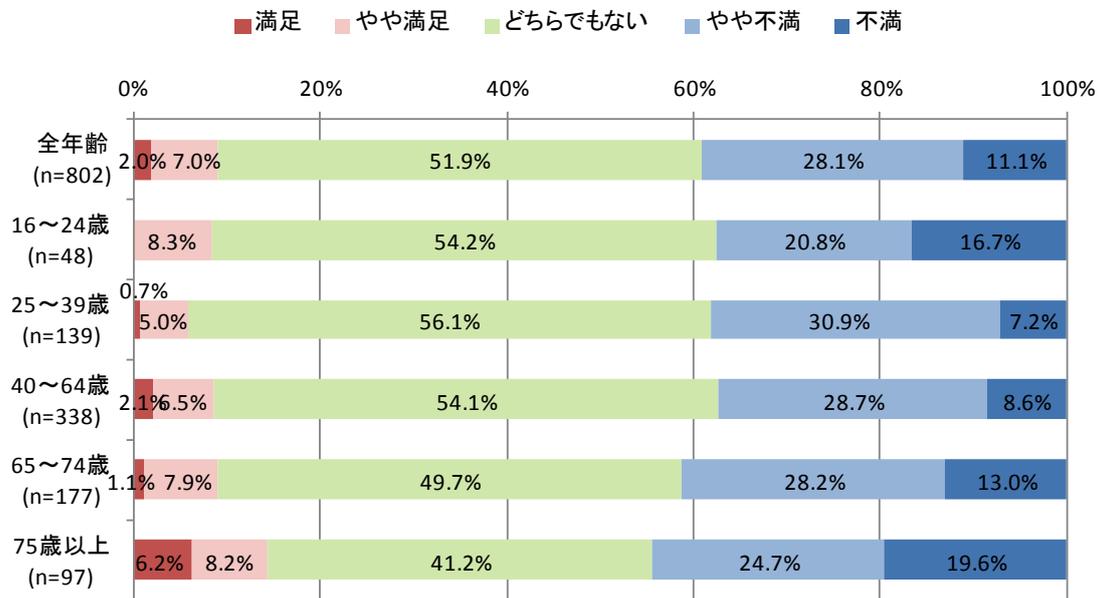


図 24 バス停での屋根や椅子の有無など待ち合い環境の満足度

バス停で得られる時刻表などの情報

・25～64歳の満足度が低かった

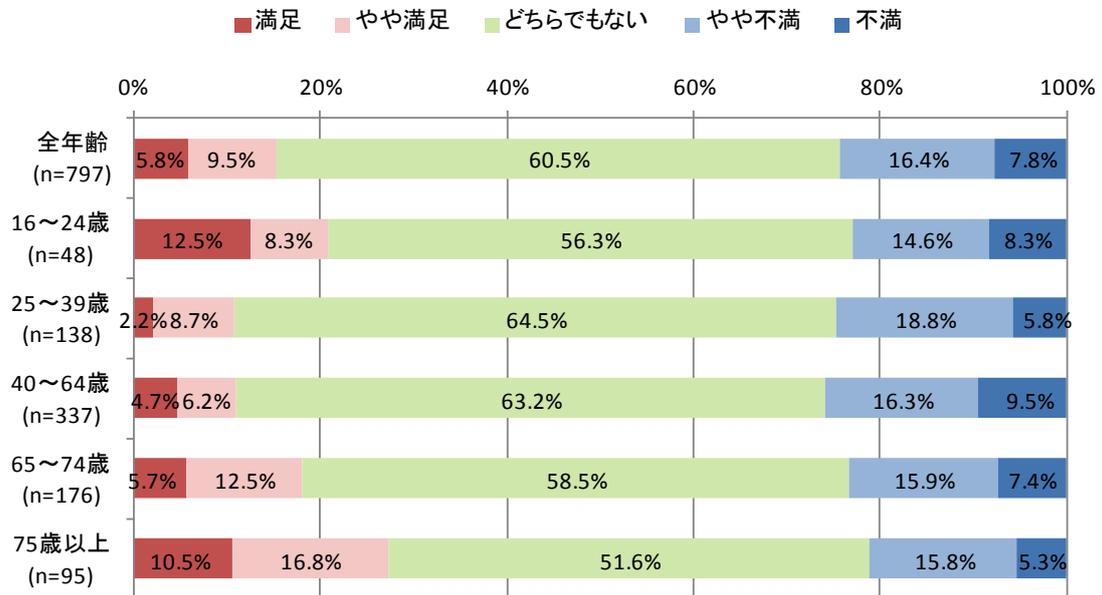


図 25 バス停で得られる時刻表などの情報満足度

駐輪場などのバス停周辺施設

・かなり満足度が低く、25～39歳では「満足」という回答は無かった

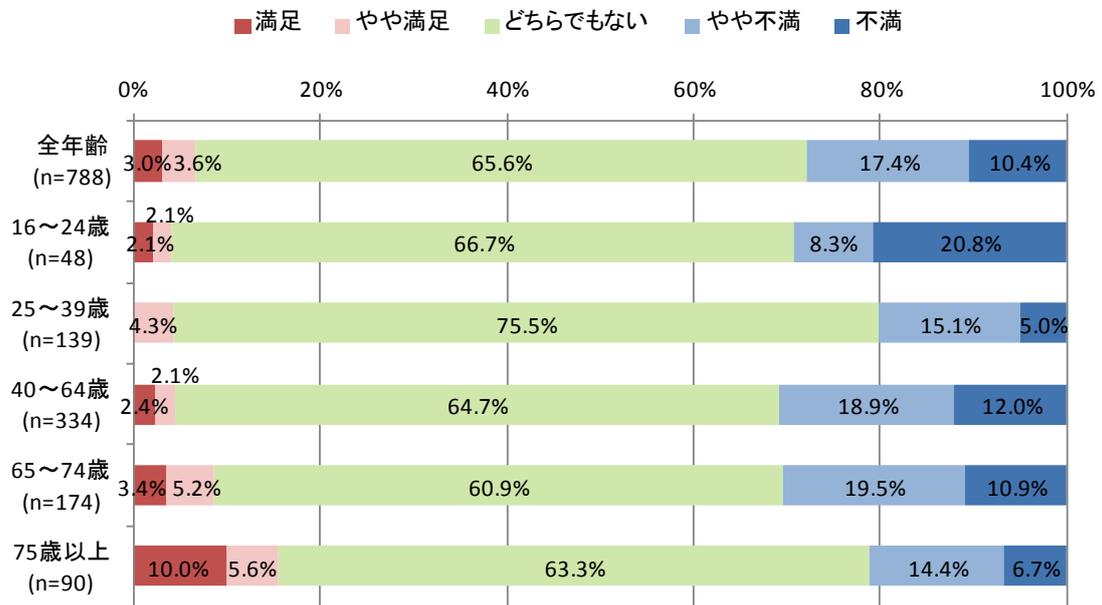


図 26 駐輪場などバス周辺施設の満足度

総合的な「路線バス」のサービス内容について

・全体的に満足度は低かった
 ・年齢階層別に比較すると、75歳以上の満足度が最も高く不満度は最も低かった

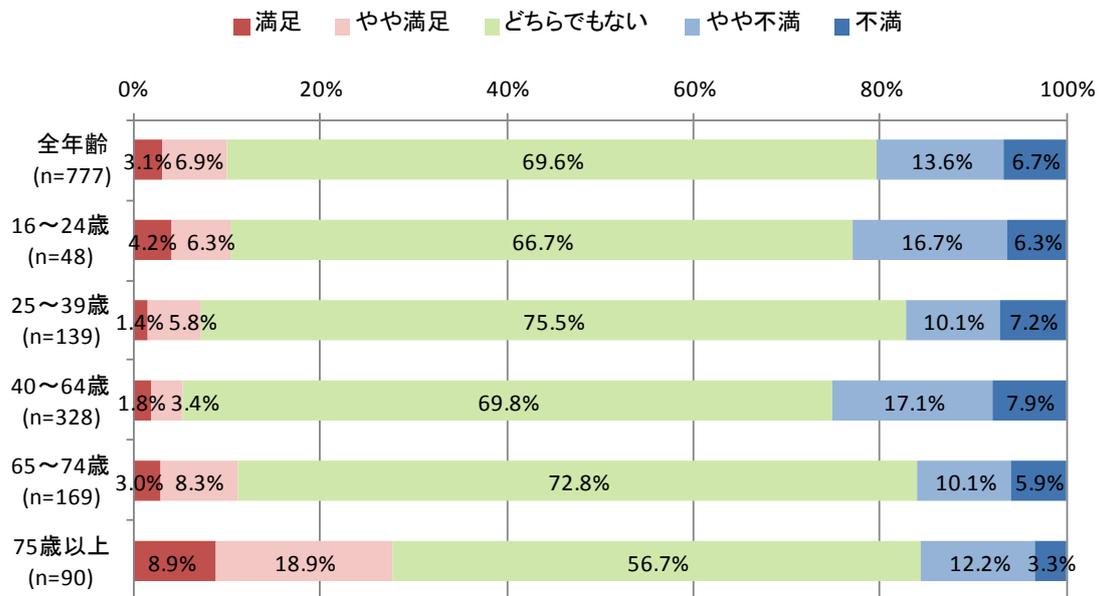


図 27 総合的な路線バスのサービス内容満足度

【問4】 【問3】のいずれかの項目が改善されれば、路線バスの利用が今より増えますか。

不満な項目が改善された場合のバス利用意向

・16～24歳では半数以上が「今より増える」と回答した

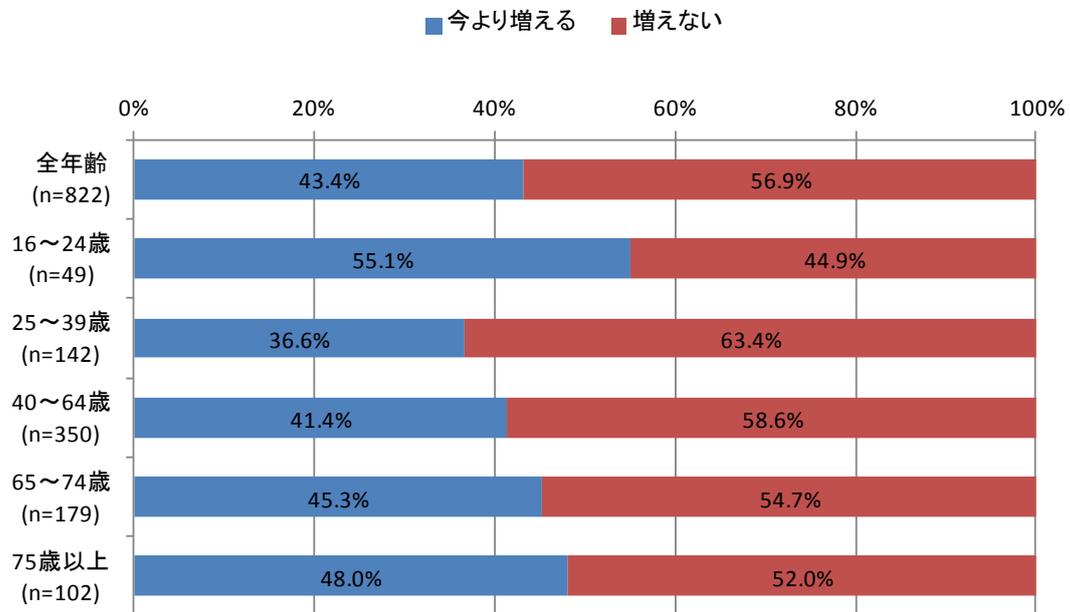


図 28 不満な項目が改善された場合のバス利用意向

【問 5】 【問 3】の項目のうち、どの項目が改善されれば路線バスの利用が今より増えますか。
 (〇は最大3つ)

※問4で「今より増える」と回答した人のみ回答

改善された場合路線バスの利用頻度が増加する項目

- ・最も回答が多かったのが「運行本数」の44%、次いで「運賃」が34%であった
- ・不満度が高かった「バス停での屋根や椅子の有無など待ち合い環境」との回答は15%で、不満ではあるが利用増の要因としてはまず他の項目が優先されると見られる

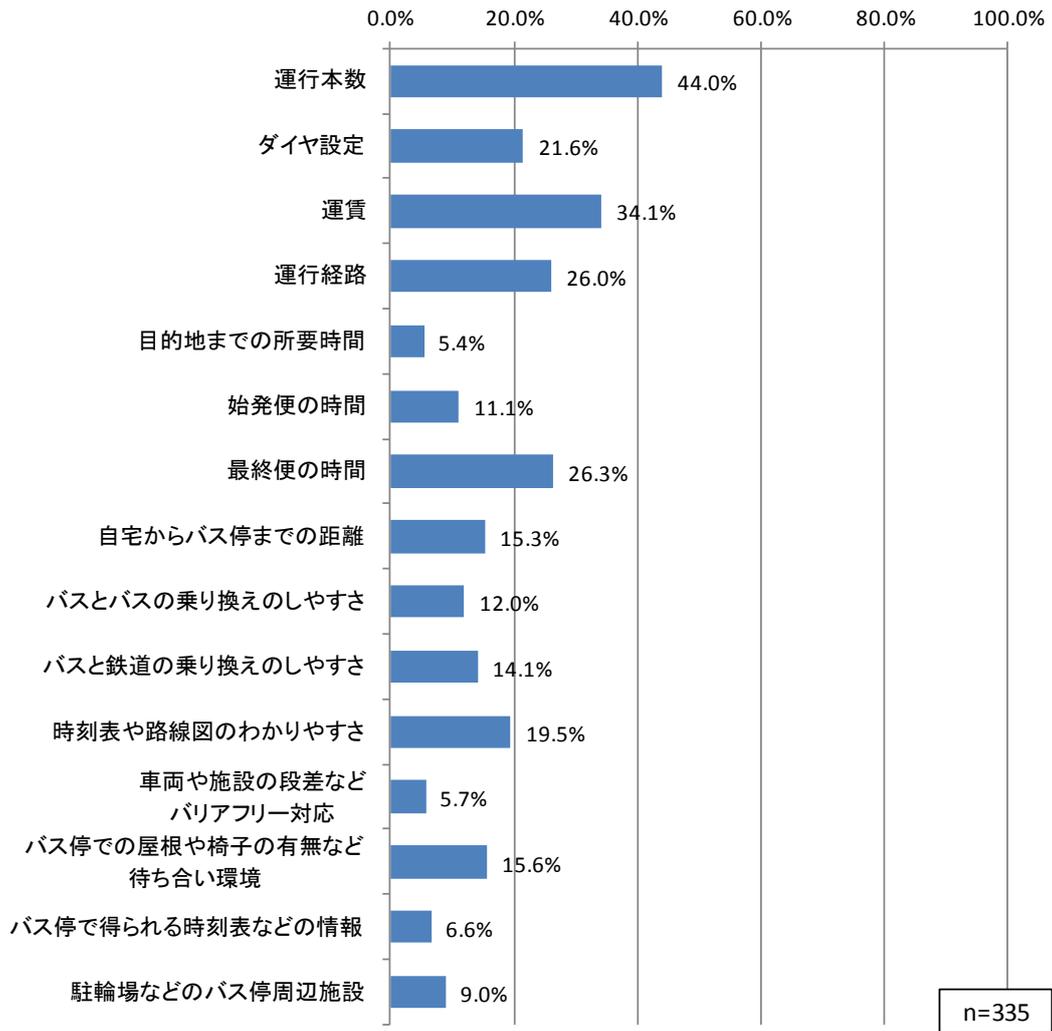


図 29 改善の場合路線バスの利用頻度が増加する項目

運行本数

・この項目を選択した人が全体で最も多かった

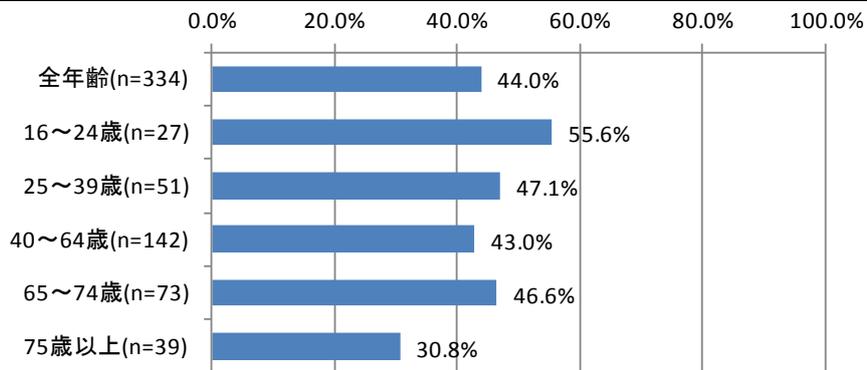


図 30 運行本数の改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

ダイヤ設定

・16～24歳、75歳以上の回答が少なかった

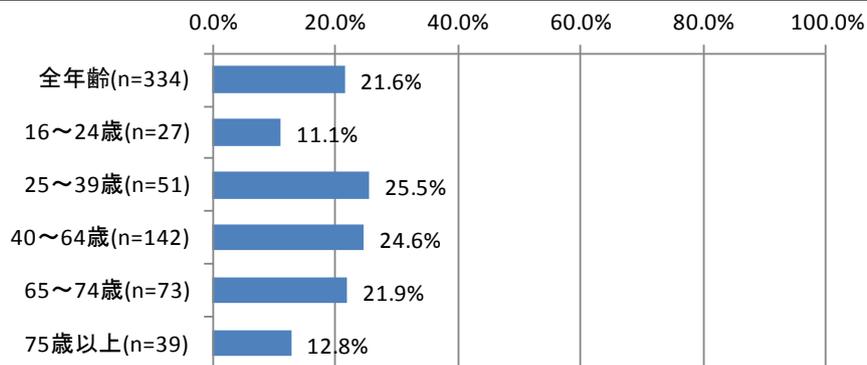


図 31 ダイヤ設定の改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

運賃

・全年齢の34%と比較し、16～24歳の回答が59%と特に高かった

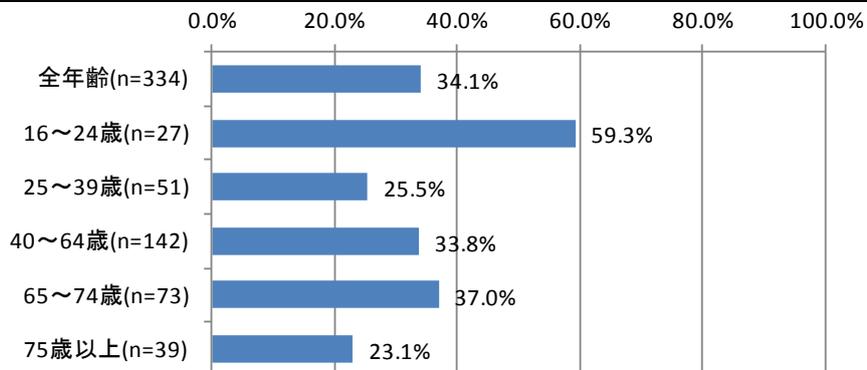


図 32 運賃設定の改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

運行経路

・16～24歳のみ低く、他の年齢階層はほぼ同率であった

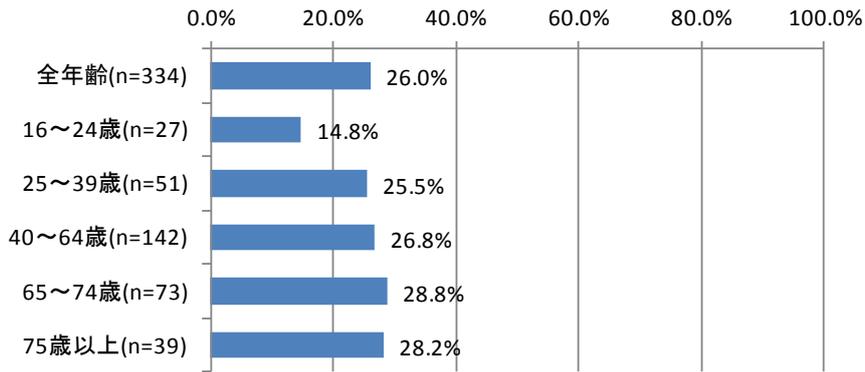


図 33 運行経路の改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

目的地までの所要時間

・75歳以上でこの項目を選択した人はいなかった

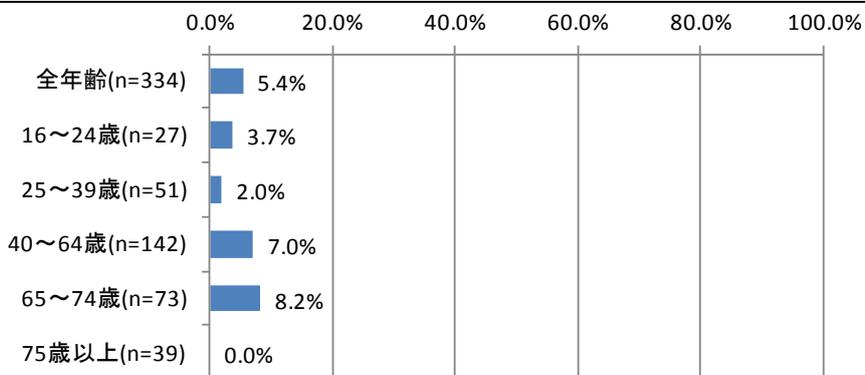


図 34 目的地までの所要時間の改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

始発便の時間

・16～24歳の回答は無く、年齢層が上がるにつれて回答率も上がっている

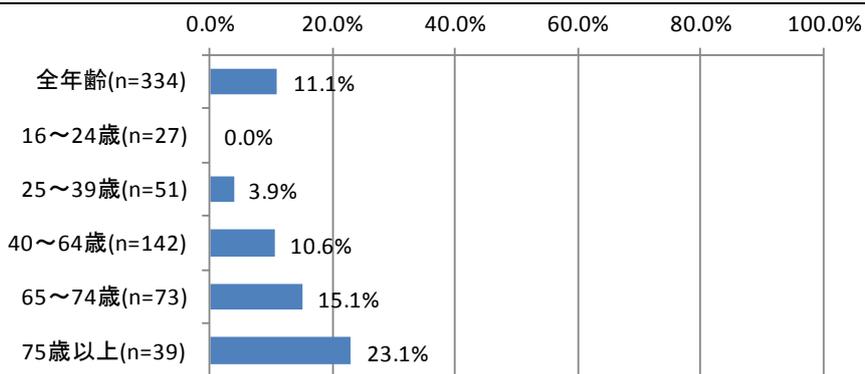


図 35 始発便の運行時刻改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

最終便の時間

・ 25～39 歳の回答割合が最も高く、75 歳以上の回答割合が最も低かった

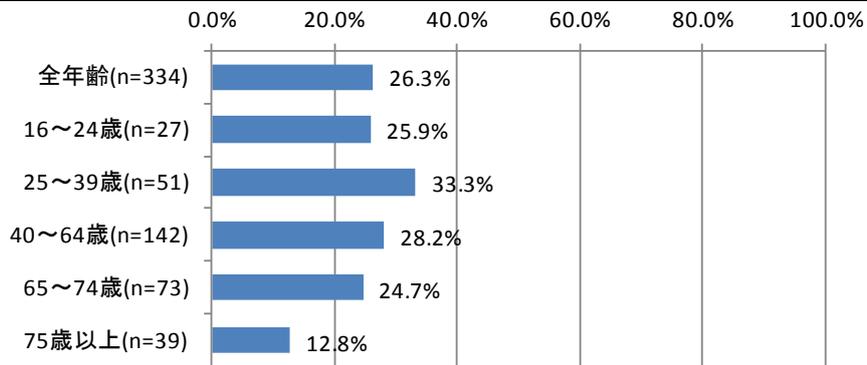


図 36 最終便の運行時刻改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

自宅からバス停までの距離

・ 満足度が高かったこともあり、この項目を回答している人は少なかった

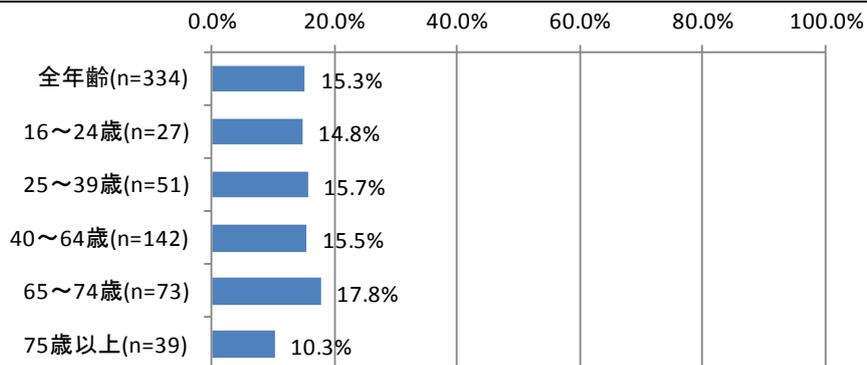


図 37 自宅からバス停までの距離改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

バスとバスの乗り換えのしやすさ

・ 満足度でも「どちらでもない」が多かったこともあり、この項目を回答した人は少なかった

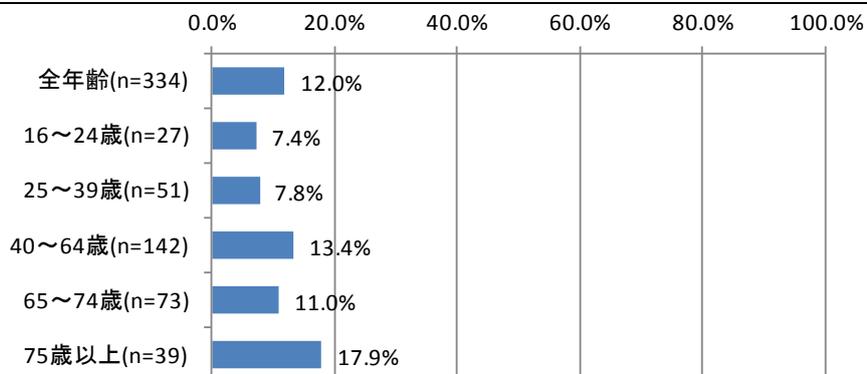


図 38 バスとバスの乗り換えのしやすさ改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

バスと鉄道の乗り換えのしやすさ

・ この項目を選択している人は少なかった

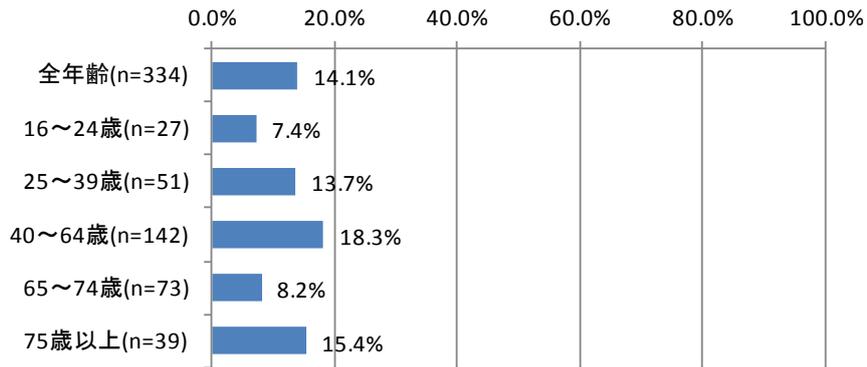


図 39 バスと鉄道の乗り換えのしやすさ改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

時刻表や路線図のわかりやすさ

・40~64歳の回答割合が最も低かった

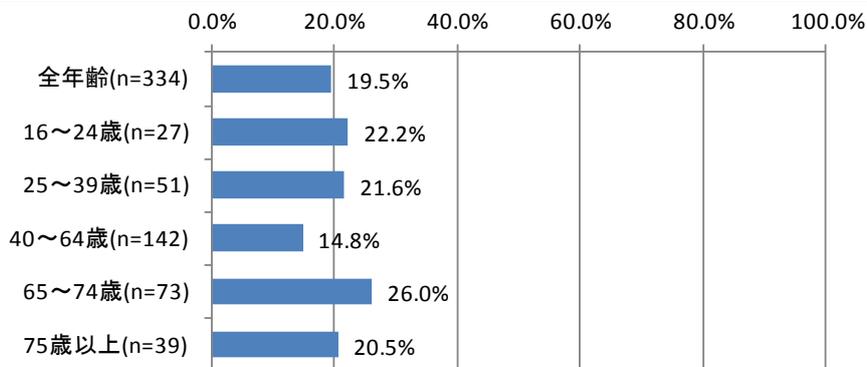


図 40 時刻表や路線図のわかりやすさ改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

車両や施設の段差などバリアフリー対応

・他の世代と比較し75歳以上の回答割合が高かった

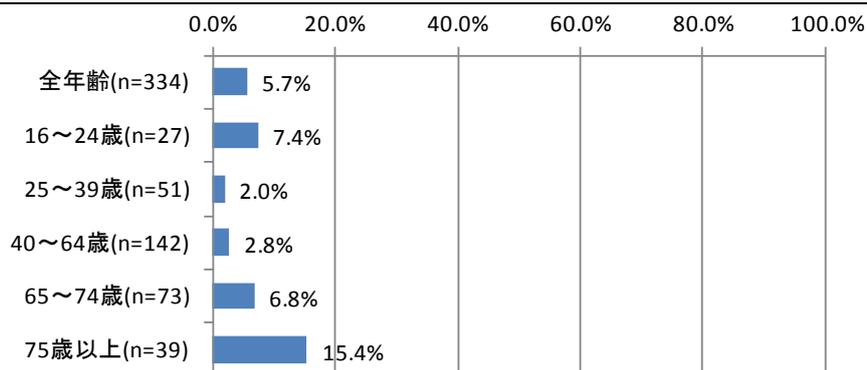


図 41 車両や施設の段差などバリアフリー対応改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

バス停での屋根や椅子の有無など待ち合い環境

・75歳以上の世代では全年齢の倍の割合にあたる31%がこの項目を回答している

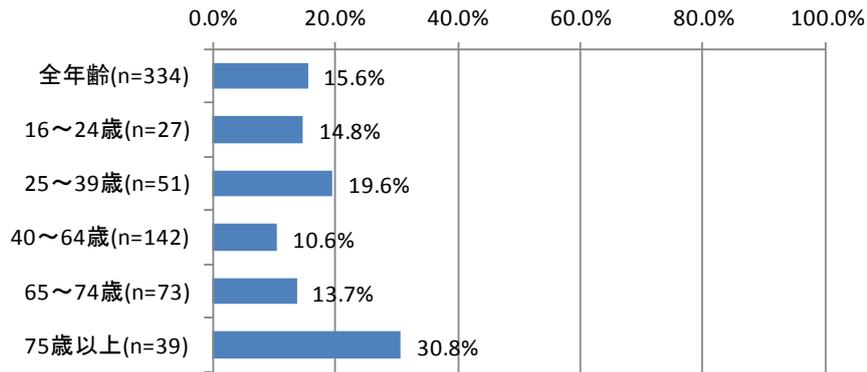


図 42 バス停での屋根や椅子の有無など待合環境改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

バス停で得られる時刻表などの情報

・ 25～39歳の回答割合が高く、全年齢の2倍以上の割合であった

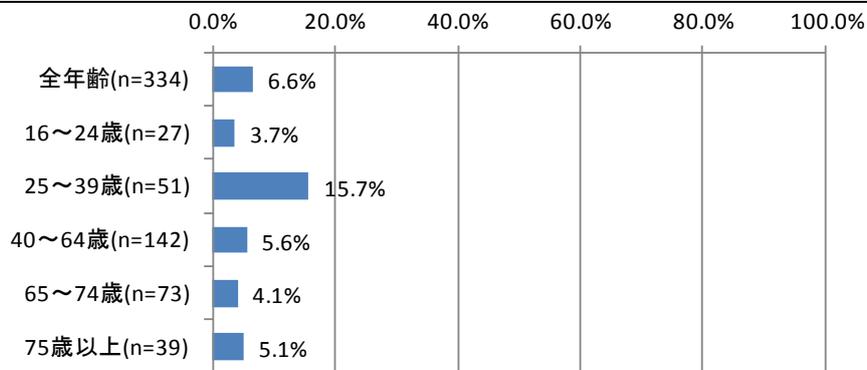


図 43 バス停で得られる時刻表などの情報改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

駐輪場などのバス停周辺施設

・ 16～24歳の回答割合が突出して高かった

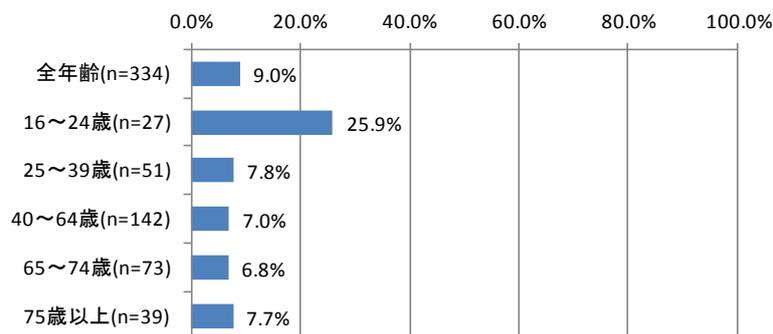


図 44 駐輪場などのバス停周辺施設改善で路線バス利用頻度が増加すると回答した割合

3.3. 鉄道の利用について

【問 6】 どのくらいの頻度で鉄道（JR山陽本線及びJR岩徳線）を利用しますか。（○は各1つ）

通勤・通学での鉄道利用頻度

- ・16～24歳の4割が「利用する」と回答し、「週5日以上」との回答も12%存在した
- ・バスと同様、「年に数日」という回答が多くを占め、定期的に利用している人は少なかった

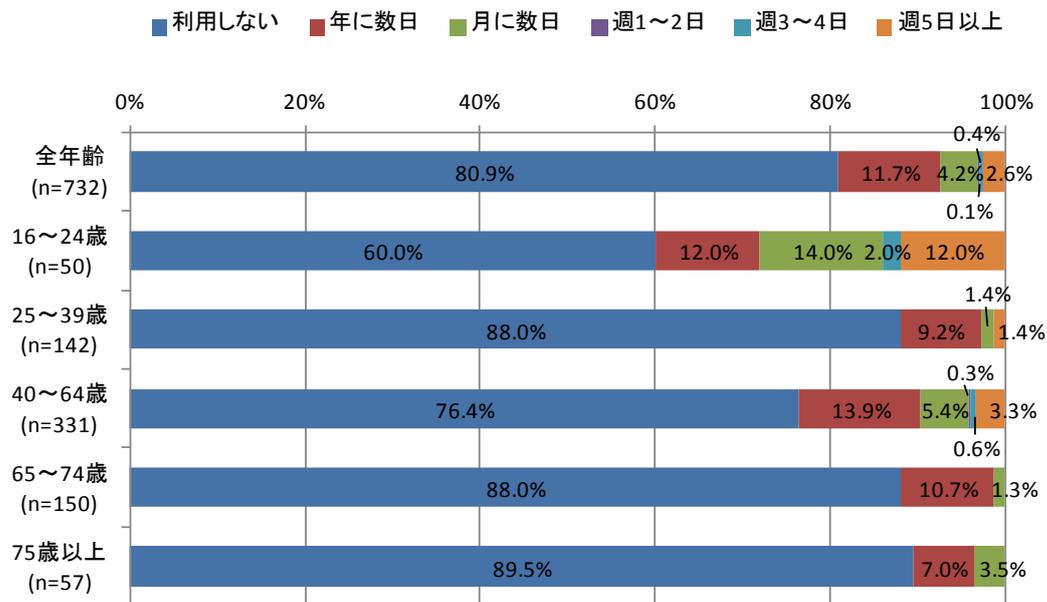


図 45 通勤・通学での鉄道利用頻度

通院での鉄道利用頻度

- ・16～24歳の世代では「利用する」との回答は無かった
- ・75歳以上は26%が「利用する」と回答した

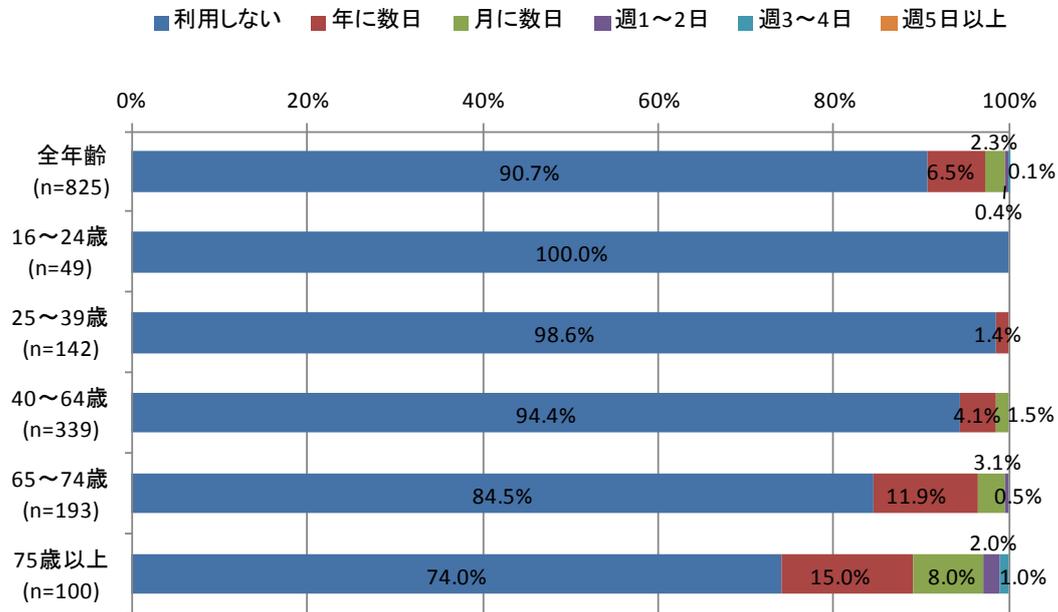


図 46 通院での鉄道利用頻度

買い物での鉄道利用頻度

- ・利用するとの回答の中では「年に数日」が大半を占めたが、16～24歳では「月に数日」との回答も14%存在した

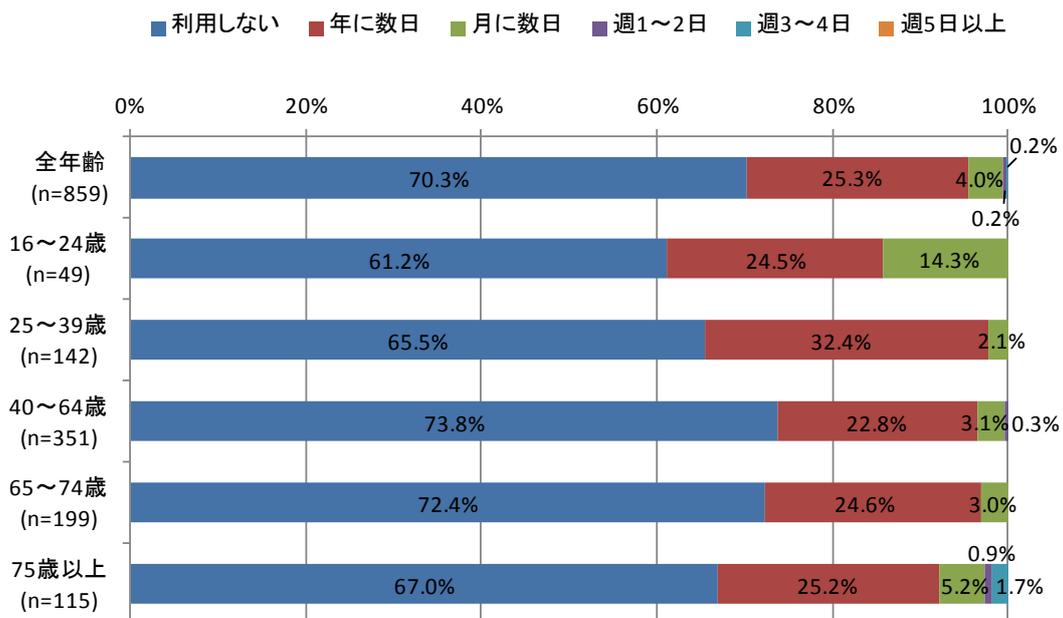


図 47 買い物での鉄道利用頻度

【問 7】 下松市を運行する鉄道（JR山陽本線及びJR岩徳線）の満足度についてお聞きします。（〇は全部で9個）

下松市内を運行する鉄道の満足度

- ・最も満足度が高いのは「目的地までの所要時間」の29%、次いで「始発便の時間」の22%で、この2つは不満度も低かった
- ・「運行本数」は4割以上が「不満」「やや不満」と回答

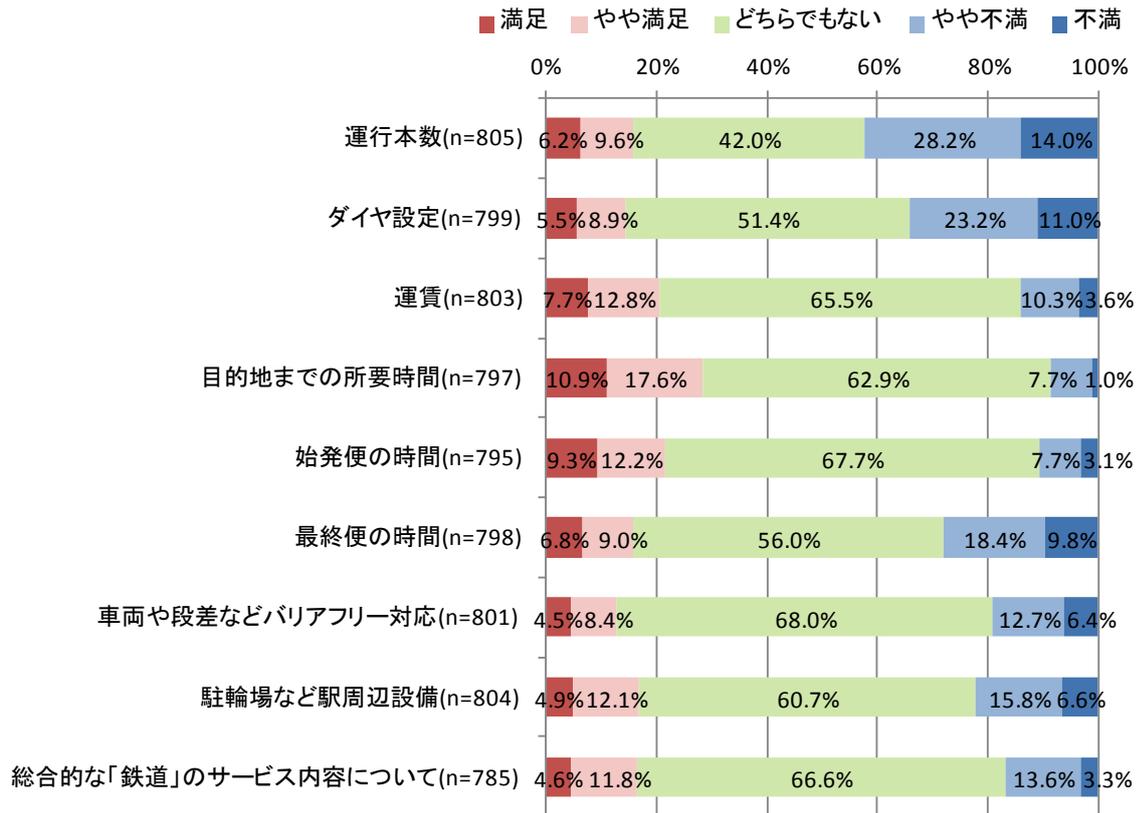


図 48 下松市内を運行する鉄道の満足度

運行本数

- ・「不満」「やや不満」の合計が16～24歳では6割を超え、25～39歳、40～64歳の年齢階層でも約半数に達している

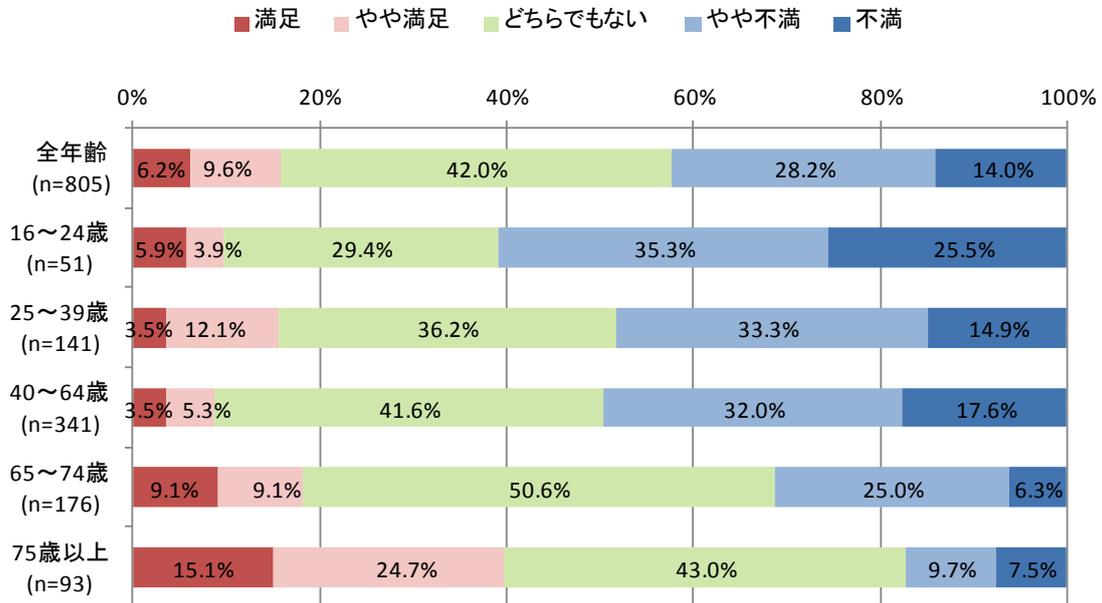


図 49 鉄道の運行本数満足度

ダイヤ設定

- ・16～24歳、40～64歳では4割以上が「不満」「やや不満」と回答したが、75歳以上では満足度が不満度を上回っている

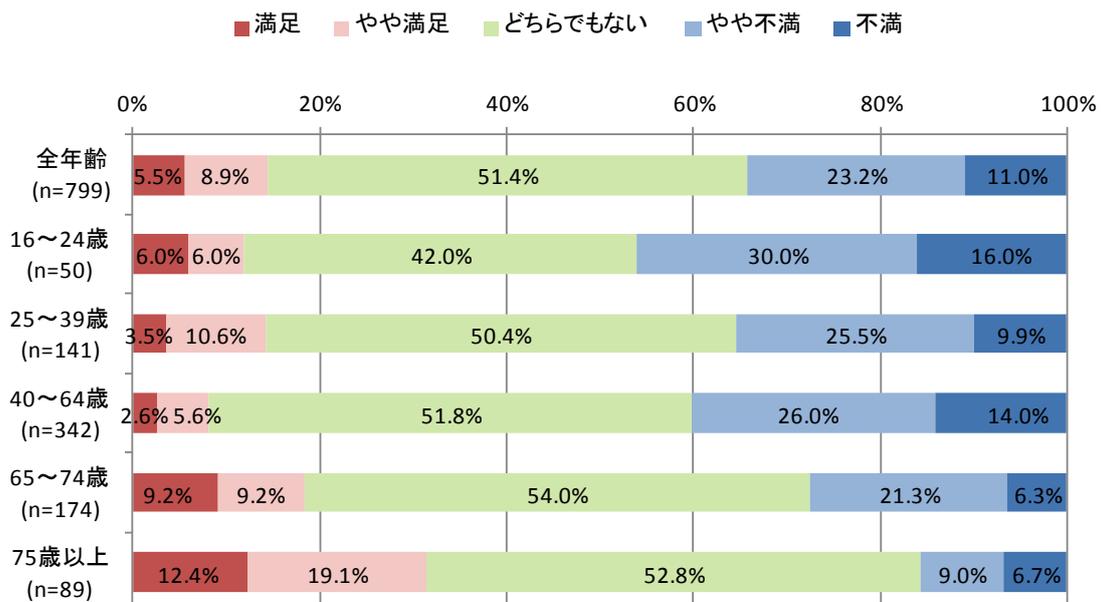


図 50 鉄道のダイヤ設定満足度

運賃

・ 16～24 歳の不満度が高いが、75 歳以上の満足度も高い

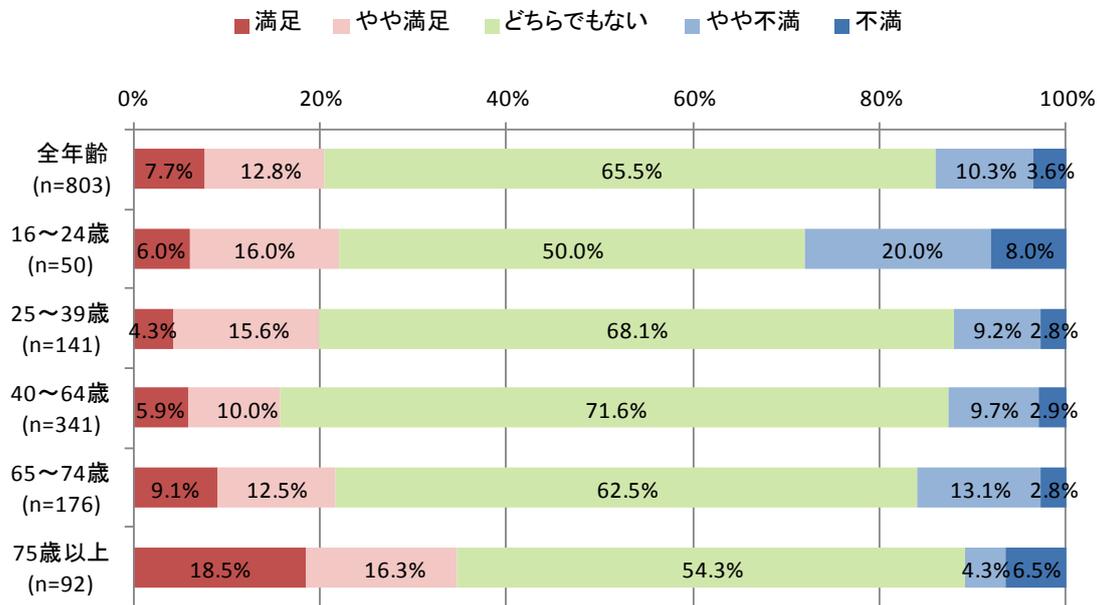


図 51 鉄道の運賃設定満足度

目的地までの所要時間

・ 不満度は低く、「不満」の回答は全体で 1%であった

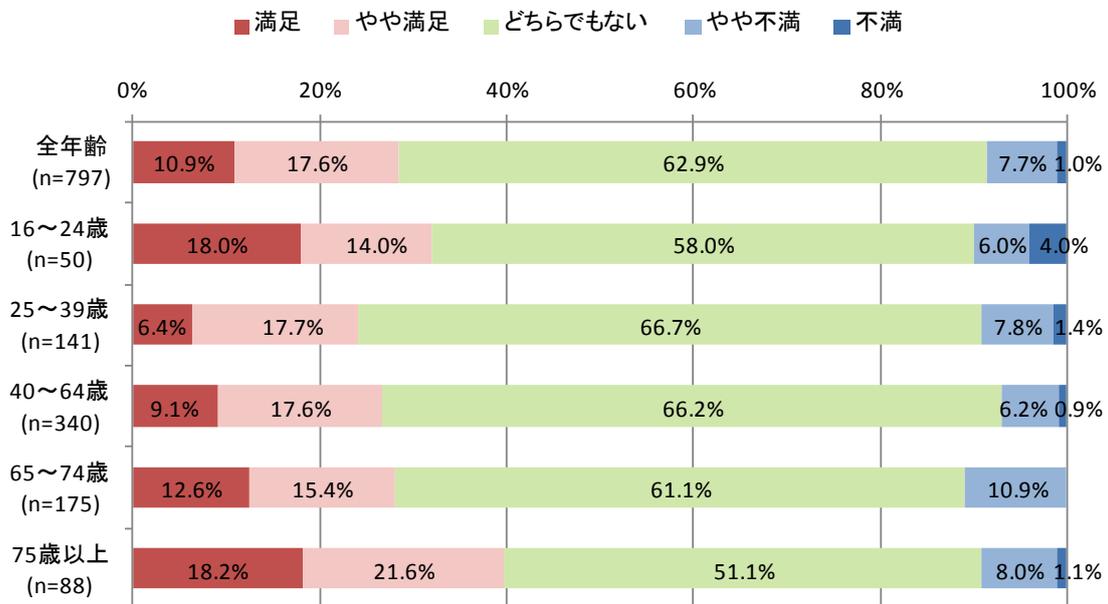


図 52 鉄道の目的地までの所要時間満足度

始発便の時間

・16～24歳、75歳以上の「満足」「やや満足」の合計は3割を超え、全体的に不満度も低かった

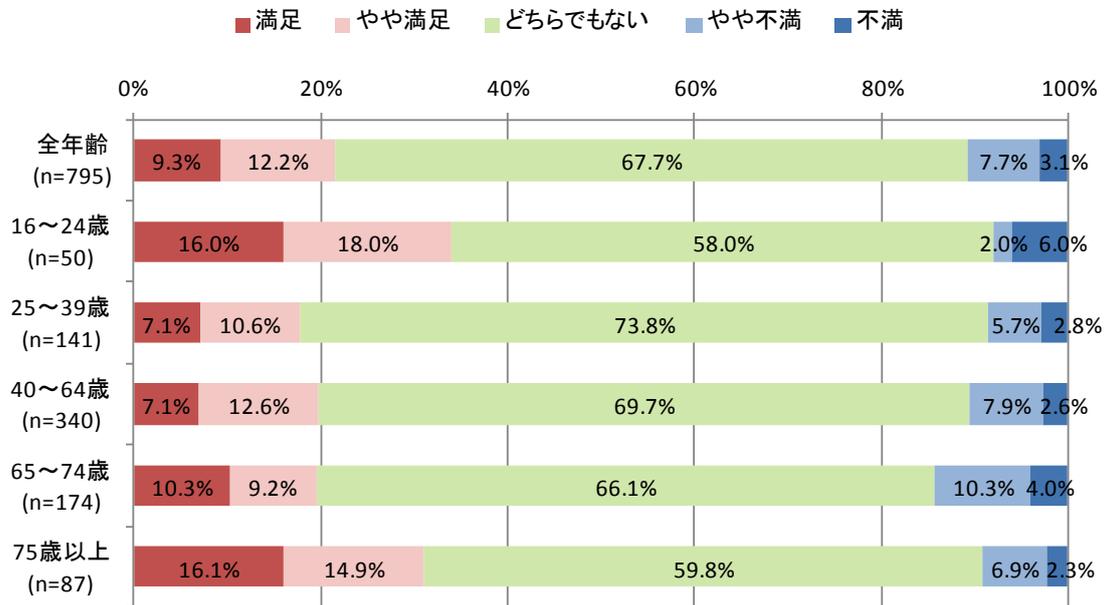


図 53 鉄道の始発便運行時刻満足度

最終便の時間

・25～64歳で特に不満度が高かった

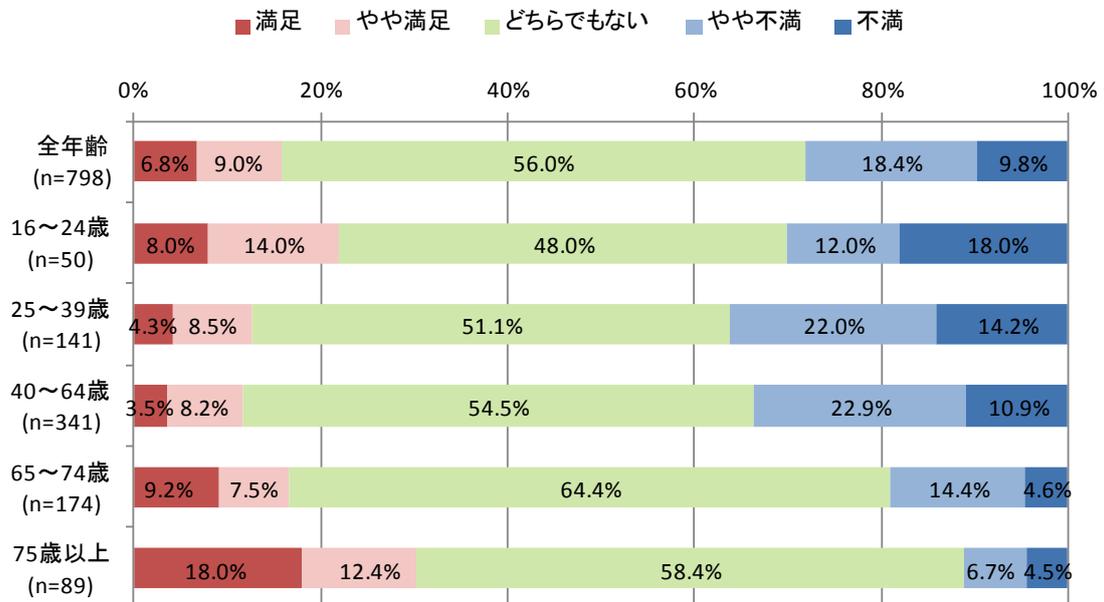


図 54 鉄道の最終便運行時刻満足度

車両や施設の段差などバリアフリー対応

・満足度も不満度も高くないが、不満度の方が少し上回った

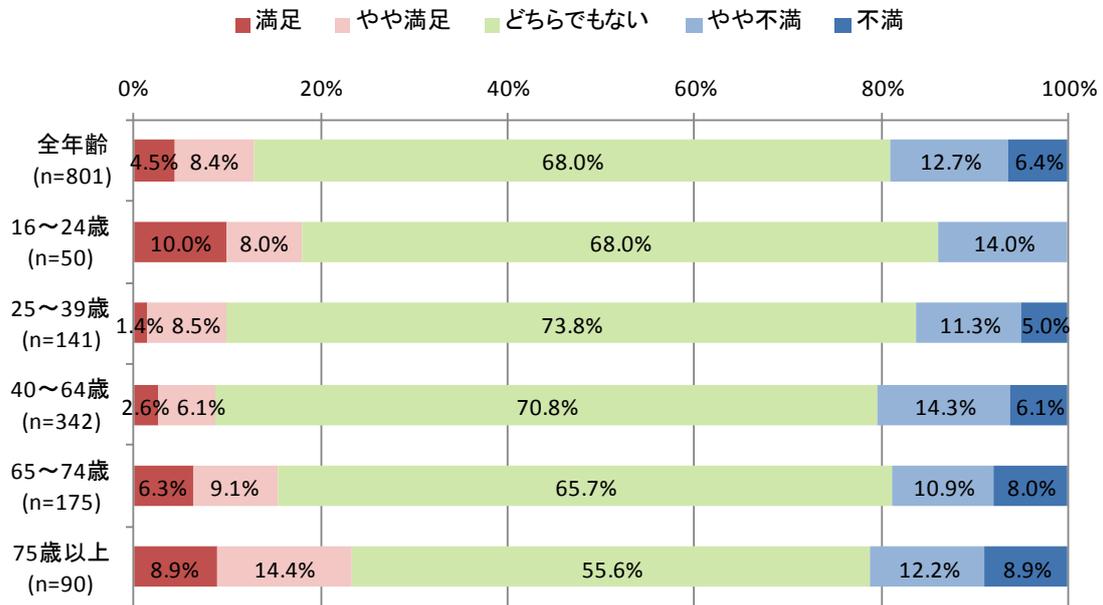


図 55 鉄道車両や施設の段差などバリアフリー対応満足度

駐輪場などの駅周辺施設

・年齢層が下がるにつれ、不満度が高くなっている

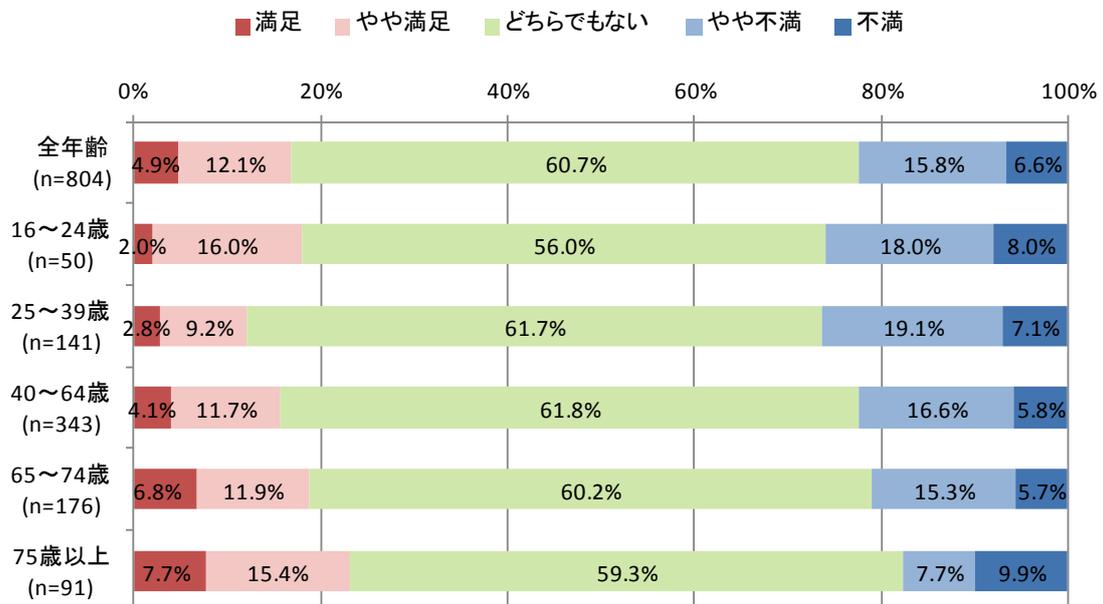


図 56 駐輪場などの駅周辺施設の満足度

総合的な「鉄道」のサービス内容について

- ・全体の満足度と不満度はほぼ同じ割合であった
- ・75歳以上では満足度が高く、不満度が低かった

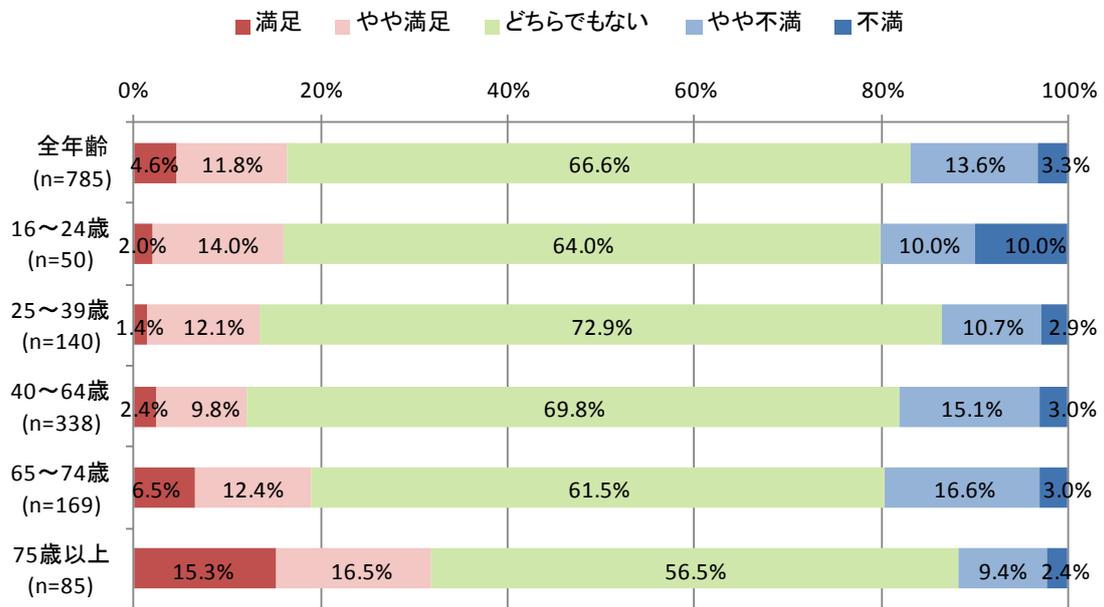


図 57 総合的な鉄道サービスの満足度

【問 8】 【問 7】 のいずれかの項目が改善されれば、鉄道の利用が今より増えますか。

不満な項目が改善された場合の鉄道利用増への意欲

・ 16～24 歳では 6 割以上が「今より増える」と回答した

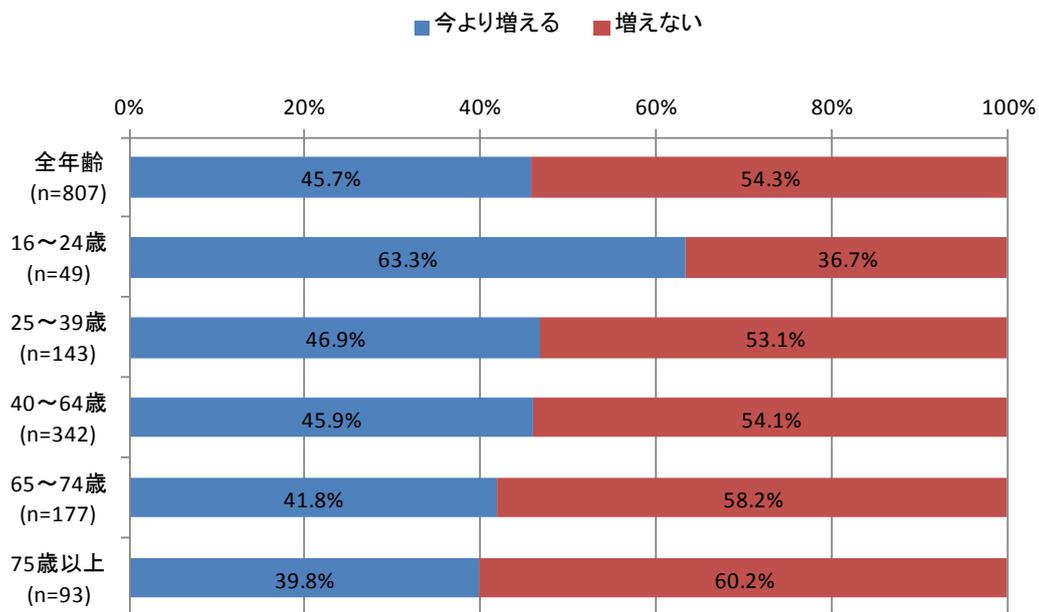


図 58 不満な項目が改善された場合の鉄道利用頻度増への意欲

【問 9】 【問 7】 の項目のうち、どの項目が改善されれば鉄道利用が今より増えますか。(○は最大 3 つ)

※問 8 で「今より増える」と回答した人のみ回答

改善されると鉄道の利用が増える可能性のある項目

・「運行本数」が 64% と最も高く、次いで「ダイヤ設定」が 49%、「最終便の時間」が 45% だった

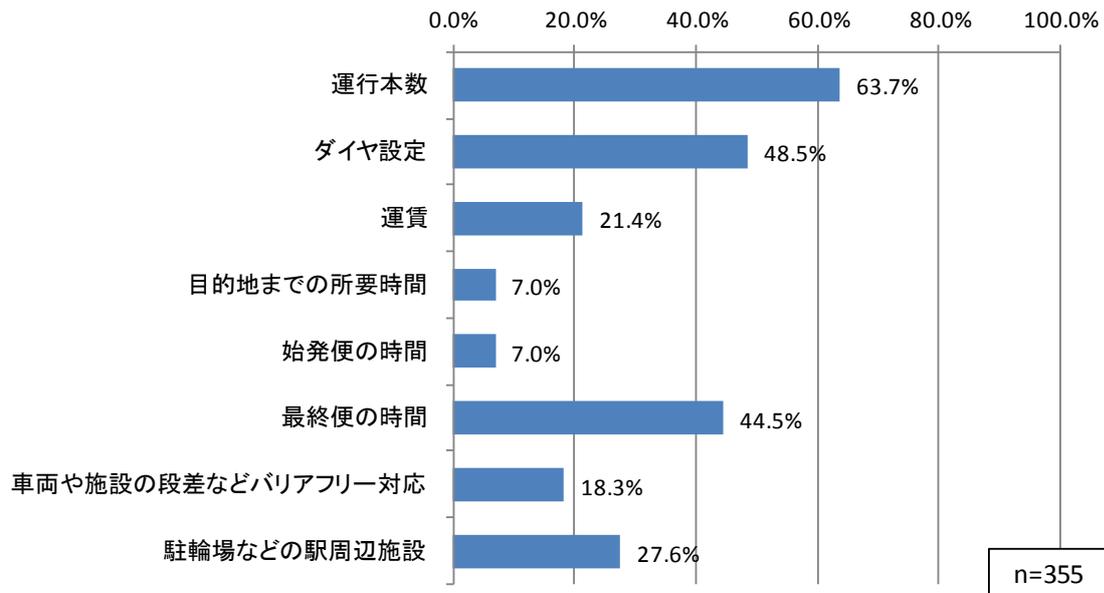


図 59 改善の場合鉄道の利用頻度が増加する項目

運行本数

・全ての世代で半数以上が選択し、16～39 歳では 7 割を超えた

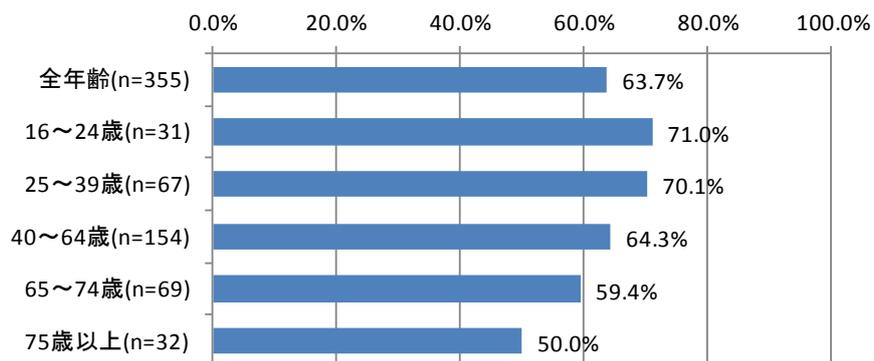


図 60 運行本数の改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

ダイヤ設定

・40～64歳では半数以上が選択した

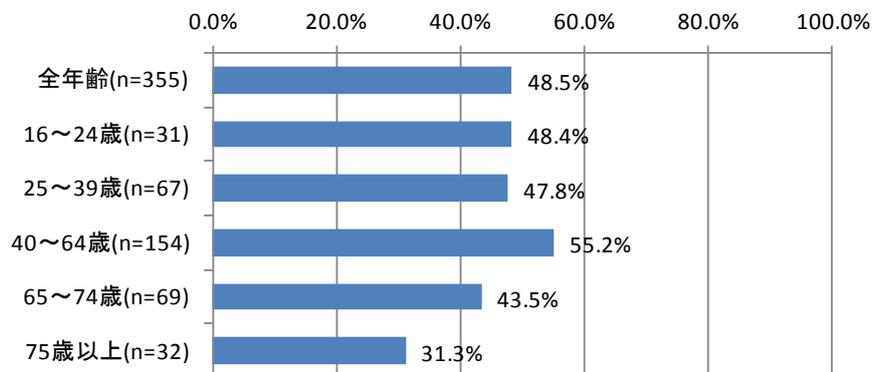


図 61 ダイヤ設定の改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

運賃

・16～24歳の回答割合が最も高かった

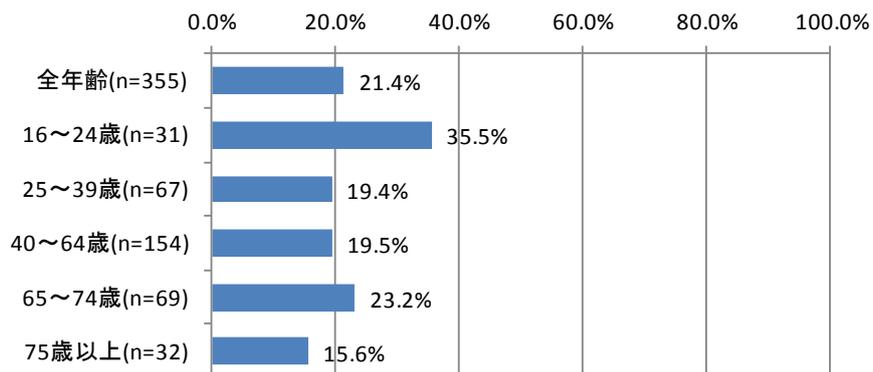


図 62 運賃設定の改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

目的地までの所要時間

・この項目を選択した人は少なかった

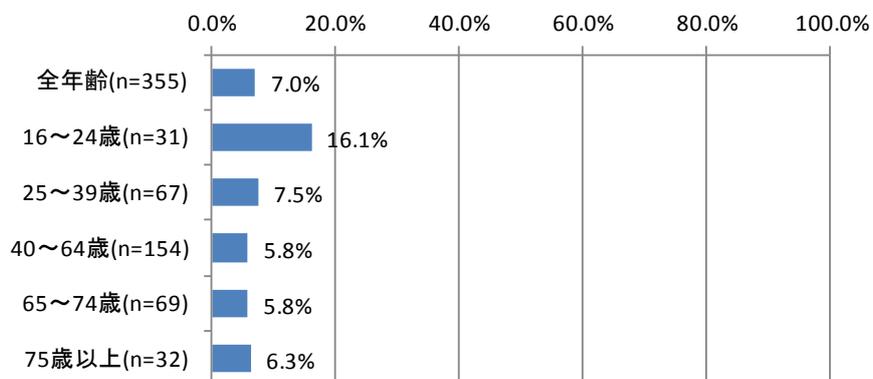


図 63 目的地までの所要時間改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

始発便の時間

・ 選択した人は少なく、16～24歳ではゼロだった

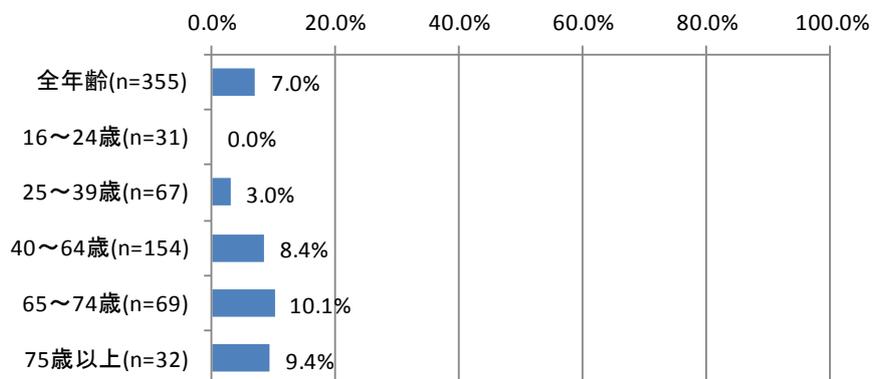


図 64 始発便の運行時刻改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

最終便の時間

・ 25～39歳では63%が選択しており、仕事をしている割合が高い世代の回答が多い

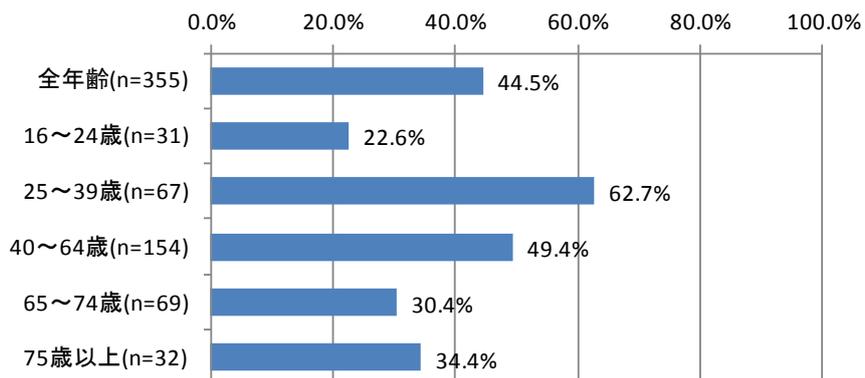


図 65 最終便の運行時刻改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

車両や施設の段差などバリアフリー対応

・ 75歳以上の47%が選択した

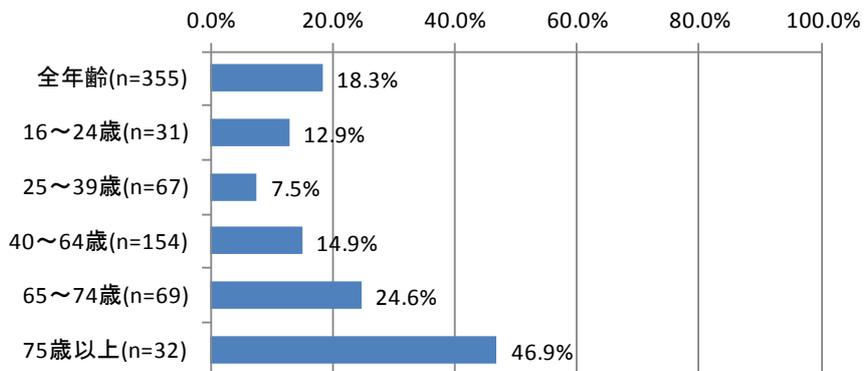


図 66 車両や施設の段差などバリアフリー対応の改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

駐輪場などの駅周辺施設

・ 不満度が高かった 16～24 歳よりも 65～74 歳の回答割合が高かった

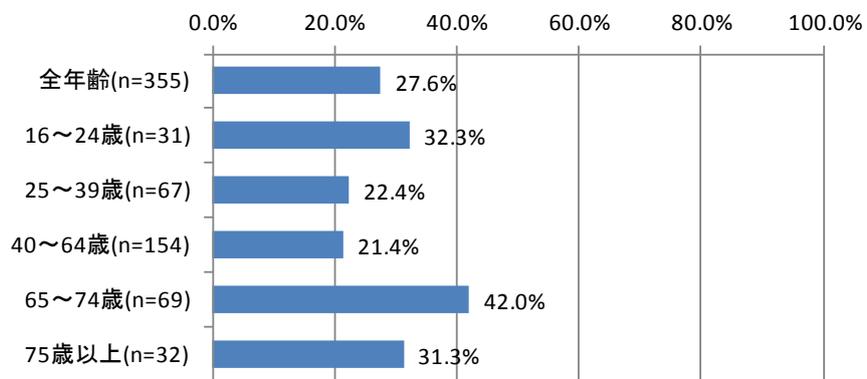


図 67 駐輪場などの駅周辺施設の改善で鉄道利用頻度が増加すると回答した割合

3.4. デマンド型交通の利用意向について

【問 10】 近年、デマンド型交通（電話予約に応じて運行する乗合交通）の導入が、郊外を中心とした多くの地域で進められています。仮に下松市でこのサービスが導入された場合、あなたは利用しますか。（○は1つ）

デマンド型交通が導入された場合の利用意向

・「利用する」が「利用しない」を上回ったのは75歳以上のみで、全ての年齢階層で「わからない」という回答が目立った

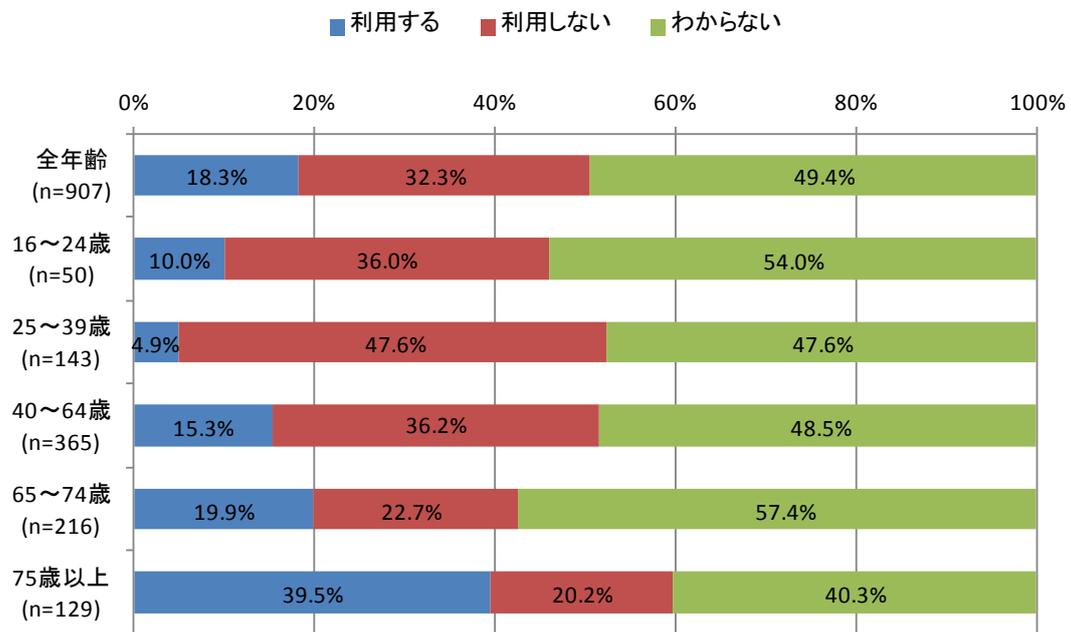


図 68 デマンド型交通が導入された場合の利用意向